

厚生労働省

平成 30 年度障害者総合福祉推進事業

発達障害者の顕在化されにくい  
「読み書き困難」についての実態調査

平成31年3月

特定非営利活動法人 全国 LD 親の会

## はじめに

全国 LD 親の会は、1990 年 2 月 11 日、9 団体が発起団体となり「全国学習障害児・者親の会連絡会」として設立されました。2020 年には、設立 30 年を迎えます。設立初期の会員の子どもは、40 才代となり、親は子どものライフステージを通じて、LD 等発達障害の特性と向き合ってきたこととなります。

LD(限局性学習症)を団体名に入れている全国 LD 親の会ですが、実は会員の子どもの診断名は ASD(自閉スペクトラム症)が一番多くなっています。最近では診断時期が早くなる傾向がありますが、以前は、小学校 2・3 年生になり、学習面の困難をどうにかして欲しいといった思いで、入会する親がたくさんいました。

「学校での友達とのトラブルが多い」「授業中じっとしてられない」「こだわりが強い」「縄跳びができない」という ADHD(注意欠如・多動症)や ASD、DCD(発達性協調運動障害)の特性がみられる子ども達ですが、学習面での「教科書の音読が苦手」「板書をノートに写せない」「書字に時間がかかる」といった読み書き困難も併せ持っている子どもは少なくありません。ASD、ADHD、PDD(広汎性発達障害)あるいは DCD と DD(発達性読み書き障害)の併存率は高いと言われてはいますが、私たち親はそれを体験的に知っています。

また、読み書き障害がある子どもたちの困難さは、読字・書字が苦手であるということ以上に、その障害が理解されないことにあり、理不尽に叱責されたりして「自信が持てない」「自尊感情が低い」「他者依存傾向が強い」といった人格の形成にも影響を与えるといいます。

読み書きが苦手な子どもたちは成長し、おとなになり、読み書きが必要とされない仕事を選んで就職していきます。社会に出ると、「読み書き」よりは、社会性のほうが課題になることも多く、親は子どもが学校に通っていたときには散々苦勞してきた「読み書き困難」については、差し迫った課題として挙げることも少なくなります。しかし、おとなになって読み書きができるようになったわけではないし、また、読み書きが苦手でも困らない社会になったわけでもありません。読み書き困難が顕在化されにくくなったに過ぎないのです。

今回、厚生労働省の障害者総合福祉推進事業で、「発達障害者の顕在化されにくい読み書き困難についての実態調査」をするにあたり、本来は、学齢期に読み書き障害と気づかないまま、おとなになっている人たちを対象に調査すべきなのだろうと思いました。しかし、そんな調査は難しく、会員を主体としたアンケート調査となり、更には、読み書きが苦手な人に文字によるアンケート調査をするという矛盾を感じる調査方法になりました。ヒアリング調査では、親の会以外の方、おとなになって読み書き障害だと分かった方にも協力をお願いしましたが、読み書きが苦手な人対象の調査手法の研究も必要ではないかと感じました。

6 か月という短い期間でまとめた調査で不十分なところも多々ありますが、改めて明らかになったことも少なくありません。発達障害のある人への支援体制整備が進められてきたこの十数年ですが、発達障害のある人の読み書き困難という切り口から、成人期の支援の在り方の検討資料として各方面で活用されることを願っています。

2019 年 3 月

特定非営利活動法人全国LD親の会  
理事長 井上 育世

# 目 次

はじめに	
事業要旨	3
事業目的	5
事業の実施内容	5
調査の結果	9
第Ⅰ部 発達障害者本人対象のアンケート調査	9
第1章 アンケート調査の概要	9
1 目的	9
2 実施要領	9
3 アンケート用紙記入者	10
4 年代別・男女別回答者数	11
5 住んでいる都道府県	12
6 現在の状況	13
第2章 読み書き困難についての自己理解	15
1 自分が得意だと思うこと	15
2 苦手なこと	16
3 読み書きについての工夫	17
第3章 読み書き困難についての社会的障壁	20
1 街中の看板や交通機関の表示	20
2 商品や製品の説明書・契約書	23
3 各種書類	26
4 仕事や職場における困難	39
5 選挙の際の困難	43
第Ⅱ部 発達障害者の親対象のアンケート調査	49
第1章 アンケート調査の概要	49
1 目的	49
2 実施要領	49
3 都道府県別回答者数	50
4 子どもの年代と診断・判定の状況	51
5 初診の時期	52
6 読み書きについての療育や指導の状況	52
7 二次障害について	57
8 障害者手帳の取得状況	59
9 障害者基礎年金の受給状況	60
10 現在の状況	61
第2章 成育歴から見える困難さ	62
1 幼少期の困難さ	62
2 学齢期の困難さ	64
第3章 現在の読み書き困難の状況	67
1 生活における困難さ	67
2 働くうえでの困難さ	69
3 家族のサポート状況	71
4 身につけている工夫や機器などの利用	71
第4章 親の心配	72
1 子どもが使えるようになって欲しいサポート	72
2 親のサポートが無くなった時の心配	72
3 相談機関・相談場所	73

第Ⅲ部 顕在化されにくい読み書き困難の実態	77
第1章 顕在化されにくい要因	77
1 得意だと思っていること	77
2 一番苦手だと思っていること	78
3 本人が工夫していること	81
4 読み書き困難についての認識	82
第2章 ヒアリング調査	90
1 発達障害者本人からのヒアリング調査	90
2 支援者からのヒアリング調査	110
第3章 読み書き困難に対する支援	114
1 療育・指導の状況	114
2 IT機器の利用との関連	122
3 親の座談会	
「読み書き困難についてのライフステージを通じた切れ目ない支援」	126
4 地域による比較	130
分析・考察	135
検討委員会の実施状況	137
成果等の公表計画	137
資料編	141
I アンケート調査用紙（発達障害者本人用）	141
II アンケート調査用紙（発達障害者の親用）	145
III 基礎統計表1（発達障害者本人からの回答分 単独集計）	149
IV 基礎統計表2（発達障害者の親からの回答分 単独集計）	156
事業協力団体・協力者	165

おわりに

事業要旨

事業目的

事業の実施内容

# 事業要旨

本事業では、発達障害者の成人期における読み書き困難の実態を把握するため、18才以上の発達障害者とその親へのアンケート調査、および読み書きに困難がある本人へのヒアリング調査、支援者へのヒアリング調査を実施し、その内容を分析した。

DD(発達性読み書き障害)が顕在化しにくい理由として、まず、DDがASD(自閉スペクトラム症)やADHD(注意欠如・多動症)など他の発達障害と併存することが多く、行動や情緒の特性のほうが注目されやすいことが挙げられる。次に、読み書きは、「読み書きそろばん」と古くは寺子屋の時代から言われるように、初等教育で身につけるべき基礎的な能力・学力という認識が社会通念としてあり、読み書きの苦手さが障害によるものと理解されにくいことが挙げられる。そして、「全く読めない」「全く書けない」ではなく、その状況が環境や本人の特性や体調等によって変わるということも、更に周囲の理解を難しくしている。

18才以上の発達障害者本人に対するアンケート調査では、社会生活の中の文字や文書に関して、現状がどの程度社会的障壁となっているか、また本人が獲得している対処方法などについての項目を作成し、発達障害者の親に対するアンケートでは、成育歴や親から見た現状についての項目を作成した。本人・親の回答がペアで返送された場合は、両者の相関が分析できるよう、同一ナンバーリングした。本人か親かのどちらか一方の返送の場合は、それぞれの単独集計に加えることとした。統計処理はクロス集計表を作りおこなった。

アンケート調査の分析と読み書き困難がある本人、支援者へのヒアリングの内容から、発達障害者本人の自己理解、読み書き困難についての社会的障壁、親・家族によるサポート状況と顕在化されにくい要因との関連を整理し、読み書き困難についての支援について考察した。

「読み書き困難についての自己理解」については、「読む」ことより「書く」ことへの困難を認識している割合が高い。それは、支援者のヒアリングにもあるように、どう見えるかは生まれ持ったものなので、本人にもそれが読みにくい状況だとは気がつきにくい、「書く」ことについては、周囲も書いたものがわかるので、「間違っている」「おかしい」という指摘が入りやすいことによるものと思われる。

また、読み書きが苦手だと認識している場合は、していない場合と比べて、IT機器の読み上げソフトや音声入力ソフト、紙へのPC入力ソフトなどの利用に積極的ではないかと予想していたが、両者にそれ程の差はなく、自分は読み書きが苦手だと思っても、IT機器の読み書き支援ソフトの利用は多くないことがわかった。IT機器のソフトの利用等は、おとなになって便利だからと積極的に利用するのは個人差が大きく、学齢期から、自らに合った使用方法を試行錯誤しながら取り入れていく過程があつてこそ、仕事や生活に役立つものとして、情報にアクセスして取り入れ、機能するものであることを示しているといえる。

「読み書き困難についての社会的障壁」については、街中の看板や交通機関の表示では、文書を読むことが苦手な人は、バスや電車の行き先や案内図などの字や説明などがわかりにくいことがわかった。また、商品や製品の説明書や契約書、医療機関の書類、市役所や区役所の書類など、各年代で触れることが多い書類、各「現在の状況」で触れることが多い書類に対して、「わかりにくい」という回答が多かった。本人がどのような読み書きの工夫をしても、本人宛ての書類や年末調整の書類、電話や伝言のメモ、履歴書の記入がわかりにくく、書類に対する支援としては、「質問に丁寧に答えてくれる人」「わかりやすい書類の記入例」「相談に乗ってくれる人」が欲しいという割合が高かった。

読み書きについての療育や指導の状況としては、診断・判定を受けた時期が早いほど、読み書きについての療育・指導につながっており、中学校以降に診断・判定を受けた場合は、読み書きについての指導を受けていない割合が高いことが明らかになった。早期発見・早期支援の重要性を示唆するものと言えよう。

家族のサポート状況は、「文書の内容の説明・確認」が54%と最も多く、次に「提出期限など文書の管理」が42%と多い。文字や文章の読み書き等、文書については親や家族が支援している状況が伺える。親は子どもの現在の読み書き困難の状況として、「本人だけでは障害者手帳の更新など役所等への書類が作成できない」ことを一番に挙げており、働くうえでも「文書の内容把握のためには説明が必要」「報告書等の書類が書けない」が多かった。親が文書等について、「安心して気軽に相談できる窓口が必要」という回答も73%と圧倒的に多い。一方で、本人は「字を読むこと」「文章を読むこと」「字を手書きすること」「文章を手書きすること」が最も苦手だと思っている人は少なく、逆に「文章を読むこと」「文章を書くこと」が得意だと思っている本人もおり、親のサポート状況と本人の認識に乖離が認められる。学齢期に「読むこと」「書くこと」への拒否感を持たなければ、本人が興味あることに対しては、自分のペースで本を読んだり、文を書いたりすることは問題ない場合も多い。しかし、仕事として一定の速さ、正確さを求められると、困難な状況が生じるのは、支援者や親からのヒアリングで挙げられているとおりである。

障害の重複に関しては、診断名に拘わらず、学齢期に書字に時間が掛かったことが多く挙げられているが、「チック・トゥレット症」では、他の発達障害と比べて、学齢期「作文が嫌い」「不器用」「算数の文章題が苦手」との相関が低く、「チック・トゥレット症」特有の読み書き困難の問題が推測される。

読み書き困難に対する支援として、IT機器の利用が良く挙げられているが、本人が読み上げソフトや音声入力ソフトを利用している場合でも、本人が「質問に丁寧に答えてくれる人」や「わかりやすい書類の記入例」「相談に乗ってくれる人」「作成した書類の確認を気軽にしてくれるところ」が欲しい割合が高かった。

一方、本人の読み書きの工夫は、診断名にも年齢にも現在の生活の状況にも関係なく、「パソコンやスマホで漢字を確認する」が最も多く、親もまた、子どもが身につけている工夫は、「パソコン・スマホなどの利用」という回答が46%と一番多い。支援者のヒアリングにもあるように、「携帯では短い文で送受信することが多く、携帯を使うようになって文章がうまくなった」ということから、周囲の誰もが使用している汎用性のある一般機器が、本人にとっても使いたいという気持ちが続く、使いやすいものであるといえよう。

読み書き困難は、「全く読めない」「全く書けない」わけではないが、読み書きにかなりの努力が必要で、時間が掛かってしまう。本事業では、読み書きが苦手な人に文字によるアンケート調査をするという方法を選んだため、読み書き困難がある人の参加は難しかったと考えられる。その点では、他の多くの調査などにおいても、読み書き困難がある人は自分の意見を反映させにくいということになる。読み書き困難がある人の参加を容易にし得る調査方法については、今後の課題といえる。情報へのアクセシビリティの確保や社会参画という側面からも、重要なことと考える。

# 事業目的

「読み書き困難」は発達障害の症状のひとつとして挙げられているが、日本語の特徴もあり、日本では海外と比べて「読み書き困難」についての学童期における認知度は低く、読み書きの苦手さが障害による症状だと気付かないままおとなになる場合も多いとされている。学齢期を通して読み書きは学習の基礎であるため、「読み書き困難」は本人の努力や能力に原因があるとされやすい。そのため、読み書きが苦手であることを周囲に知られたくない気持ちから、おとなになっても、他の困難より「読み書き困難」についての支援は求めない傾向がある。

また、障害重複している場合も多く、「注意集中困難」や「感覚過敏」、「低緊張」、「不器用」、「不随意運動」といった障害の症状により、読み書き作業へのモチベーションが下がり、結果的に読み書きが苦手になったりする場合も多い。その場合、より支援を要する困難のほうが目立つため、読み書きが苦手なだけで「読み書き困難」ではないと考えてしまいがちである。

本人が「読み書き困難」であることをはっきり認識している場合は、支援を求めることが可能であるが、認識していない場合、あるいは「読み書き困難」が障害によるものだと認識していない場合、そのニーズは顕在化されにくい。そこで、発達障害者の日常生活および社会生活における読み書きについて、実態を調査・分析し、顕在化されにくい原因の解明と、おとなの「読み書き困難」に対する適切な支援に資するものとする。

## 事業の実施内容

### (1)アンケート調査

#### ①内容

アンケート調査は、下記の2種類を作成した。

- ・発達障害者本人に対するアンケート(対象は18才以上)…社会生活の中の文字や文書に関して、現状がどの程度社会的障壁となっているか、また本人が獲得している対処方法などについて
- ・発達障害者の親に対するアンケート…成育歴・親から見た現状について

#### ②用紙の送付および回収

基本的には、発達障害者本人用とその親用の用紙を1セットで送付し、本人・親の回答を1通の封筒で返送してもらい、本人とその親のペアとして内容を分析できるよう、同一ナンバーリングした。本人か親かのどちらか一方の返送の場合は、それぞれの単独集計に加えることとした。アンケート用紙は、全国LD親の会の会員だけでなく、発達障害者や親・家族からなる他の当事者団体や各地域で活動を展開している支援団体経由で、発達障害者本人や親等に協力を求めた。送付数は、59か所に2,021部(本人用・親用ペア)である。

回答回収数は、本人・親のペアが867セット、本人のみが55件、親のみが203件であった。本人の年齢が対象でない等、回答に不備があったものを除いて整理し、本人・親のセット856セット、本人のみ55件、親のみ213件を分析したため、各集計に使用するデータ数は下記の通りである。

- ・本人単独集計 911件
- ・親単独集計 1,069件
- ・本人・親ペア集計 856件

#### ③集計

おとなの「読み書き困難」が顕在化されにくい現状を調査するため、本人へのアンケートに、「一番苦手なこと」をひとつ選択してもらった。「字を読むこと」「文章を読むこと」「字を手書きする

こと」「文章を手書きすること」を一番苦手なこととして選択した場合は、本人が障害による「読み書き困難」であることを認識している「顕在的グループ」、上記を選択しなかった場合は、「読み書き困難」に対する支援が最も必要とは認識していない「潜在的グループ」として、各グループと他の質問項目との関連性を調査する予定であった。アンケート用紙の質問の箇所には、「一つだけ○をつけてください」と強調して記載したが、回答の集計結果は複数回答者が21%で最も多かった。そのため、「潜在的グループ」には、「読み書き」は「全く苦手だと思っていない人」と「一番苦手だと思っていない」人の両方が含まれることになった。割合は下記のとおりである。

・「字を読むこと」「文章を読むこと」が苦手 6%

「字を読むこと」「文章を読むこと」が一番苦手ではない、あるいは苦手ではない 94%

・「字を手書きすること」「文章を手書きすること」が苦手 15%

「字を手書きすること」「文章を手書きすること」が一番苦手ではない、あるいは苦手ではない 85%

統計処理はクロス集計表を作りおこなった。集計結果は、第2回検討委員会において内容を検討した。

## (2)ヒアリング調査

### ①発達障害者本人からのヒアリング調査

発達障害者本人へのアンケート調査は、親が親の会に入会しているケースが圧倒的に多いため、ヒアリング調査は、おとなになってから読み書き困難があることがわかった人にも協力依頼した。アンケート回答者の年齢は、20才代・30才代が多いため、40才代以降の「読み書き困難」がある人も加え、「発達障害に関する団体や自助グループに参加している人・全く参加していない人」、「学齢期に何かしらの支援を受けたことがある人・全くない人」といったことに偏りがないようにヒアリングした。また、チックがあるため「読み書きに集中できない」「字がうまく書けない」といった「読み書き困難」があるトゥレット症候群の人からもヒアリングをおこなった。

ヒアリング対象者が発達障害者本人なので、聞き取りによりフラッシュバックを起こしたり体調を崩したりする場合もあり、方法に慎重を期する必要があることから、発達障害者へのヒアリングに慣れている人に聞き取りと内容のまとめを依頼した。

### ②支援者からのヒアリング調査

- 「顕在化されにくい」現状にある「おとなの読み書き困難」に対して客観的な視点を加えるにあたり、
- ・発達障害児者の支援にあたり、個別の相談事例に多く接していること。
  - ・おとなの読み書き困難の背景を分析するにあたり、「おとな以外」あるいは「発達障害者以外」の支援もしていること。

も考慮して、ヒアリングする支援者を選んだ。

検査・相談(カウンセリング)事業や就労移行支援事業に携わっている支援者と学校の教育現場に関わっている作業療法士の3名に協力を依頼した。それぞれ、読み書き困難が見過ごされやすい現状と背景、「読み書き困難」がある人の就労における課題、書字困難における「不器用」へ具体的な支援を中心にヒアリングをおこなった。

## (3)親の会会員の座談会実施

読み書き困難が顕在化されにくい理由として、「自分が読み書きは苦手だと思っていない」と、「自分の読み書きの困難さを言いたくない」ことが挙げられる。発達障害のある子どもを育ててきた親から見た「自分の読み書きの困難さを言いたくない」心理状況と「読み書き困難についてのライフステージを通じた切れ目のない支援」について、親の会会員が話し合う場を設定した。

# 調査の結果

## 第 I 部 発達障害者本人対象の アンケート調査

# 第1章 アンケート調査の概要

## 1. 目的

「読み書き困難」は発達障害の症状のひとつとして挙げられているが、日本語の特徴もあり、日本では海外と比べて「読み書き困難」についての学童期における認知度は低く、読み書きの苦手さが障害による症状だと気付かないままおとなになる場合も多い。また、学齢期を通して読み書きは学習の基礎であるため、「読み書き困難」は本人の努力や能力に原因があるとされやすい。そのため、読み書きが苦手であることを周囲に知られたくない気持ちから、おとなになっても、他の困難より「読み書き困難」についての支援は求めない傾向がある。

本人が「読み書き困難」であることをはっきり認識している場合は、支援を求めることが可能であるが、認識していない場合、そのニーズは顕在化されにくい。そこで、18才以上の発達障害者に、社会生活の中の文字や文書に関して、現状がどの程度社会的障壁となっているか、また本人が獲得している対処方法などについてアンケート調査をし、「自分が得意なこと」「一番苦手なこと」の質問項目から、本人自身の「読み書き困難」についての自己認識と他の質問項目との分析を試みる。

## 2. 実施要領

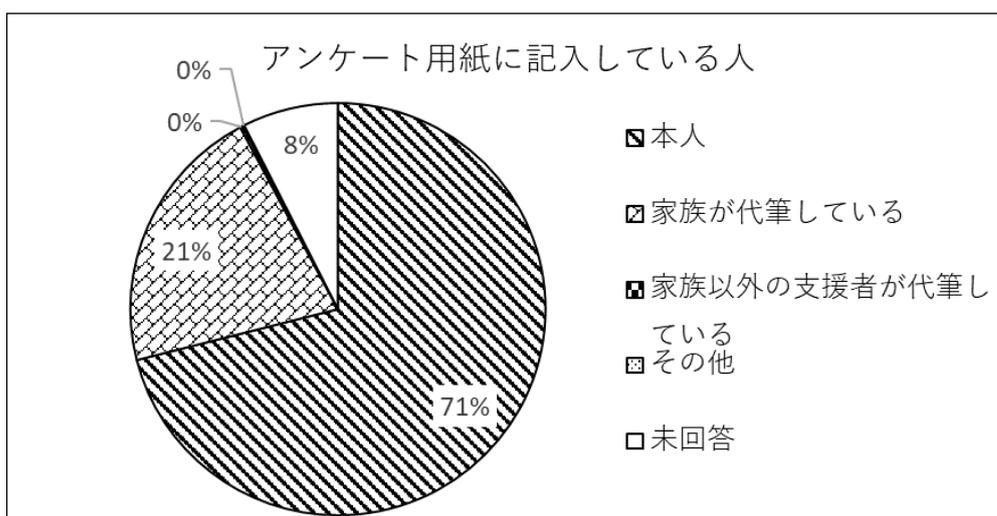
- |           |   |                 |
|-----------|---|-----------------|
| (1) 調査主体  | NPO法人全国LD親の会  |                 |
| (2) 調査期間  | 2018年10月～2018年11月   | アンケートの実施・回収     |
|           | 2018年11月～2018年12月   | アンケートの集計        |
|           | 2018年12月～2019年3月  | アンケートの分析、報告書の作成 |
| (3) 調査方法  | 全国LD親の会より、協力依頼した発達障害者団体事務局に調査票を送付<br>各団体事務局から各会員に送付、あるいは会員である親から発達障害者本人<br>に協力依頼<br>回答用紙は回答者より、アンケート回収・データ集計委託先に郵送  |                 |
| (4) 調査対象者 | 18才以上の発達障害者2,021人<br>回答者数:922人 (回収率 45.6%)<br>使用データ数:911件   |                 |
| (5) 調査領域  | ① 回答者の属性(アンケート記入者、年代、性別、都道府県)<br>② 現在の状況<br>③ 自己認識(自分が得意なこと、自分が苦手なこと)<br>④ 読み書きについての工夫<br>⑤ 社会的障壁(街中の表示、交通機関の表示、説明書、契約書、書類)<br>⑥ 仕事や職場における困難<br>⑦ 選挙の際の困難 |                 |
| (6) 分析方法  | 統計処理はクロス集計表を作り、おこなった。   |                 |

### 3. アンケート用紙記入者

表1-1-3 アンケート用紙に記入している人

	数	比率
1a 本人	647	71%
1b 家族が代筆している	193	21%
1c 家族以外の支援者が代筆している	2	0%
1Z その他	1	0%
10 未回答	68	7%
計	911	100%

図1-1-3 アンケート用紙に記入している人



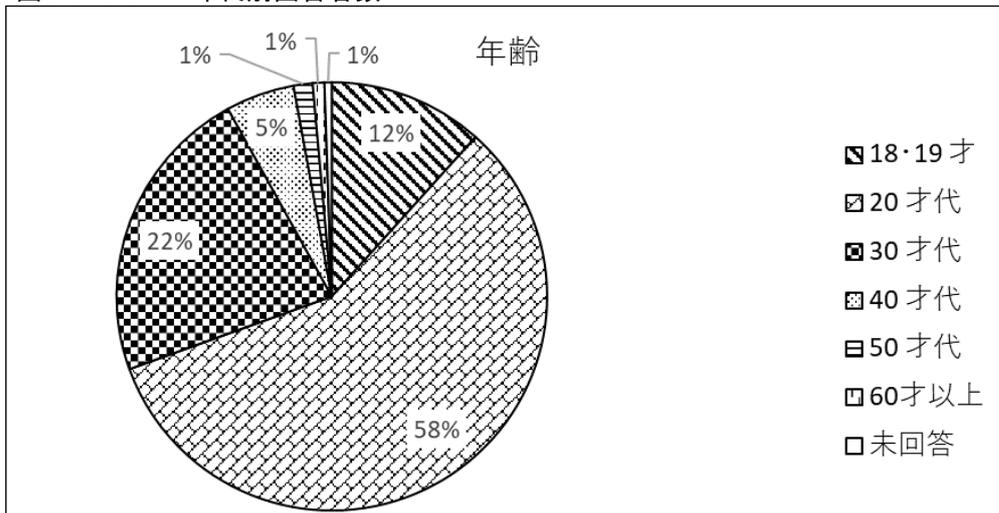
- ・回答者の約2割が家族による代筆である。
- ・家族以外の支援者による代筆は2名であり、0%に近い。

#### 4. 年代別・男女別回答者数

表1-1-4-1 年代別回答者数

年齢	数	比率
2a 18・19才	106	12%
2b 20才代	527	58%
2c 30才代	205	23%
2d 40才代	47	5%
2e 50才代	13	1%
2f 60才以上	8	1%
20 未回答	5	1%
計	911	100%

図1-1-4-1 年代別回答者数

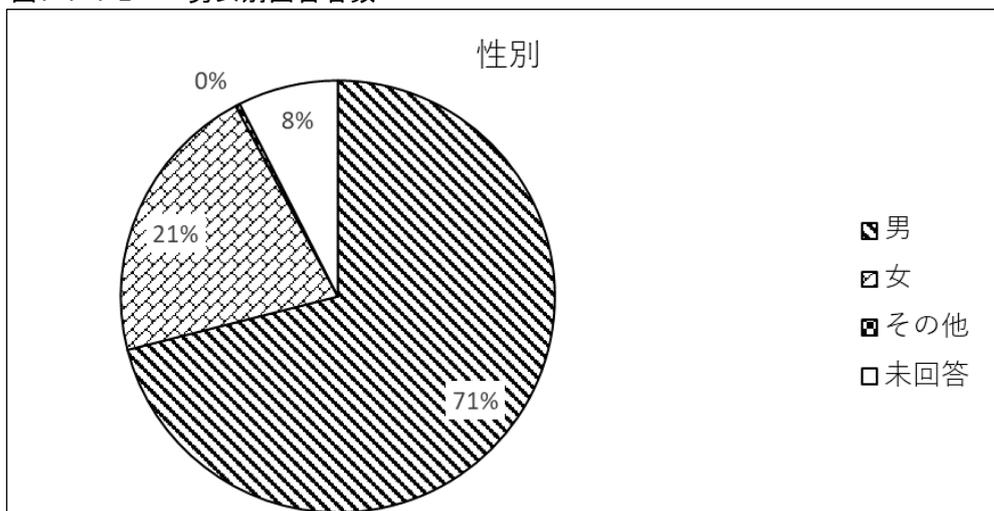


・回答者の約6割が20才代、2割が30才代である。

表1-1-4-2 男女別回答者数

性別	数	比率
3a 男	647	71%
3b 女	193	21%
3Z その他	3	0%
30 未回答	68	7%
計	911	100%

図1-1-4-2 男女別回答者数



・回答者の男女比は男子:女子=7:2である。

## 5. 都道府県別回答者数

表1-1-5 都道府県別回答者数

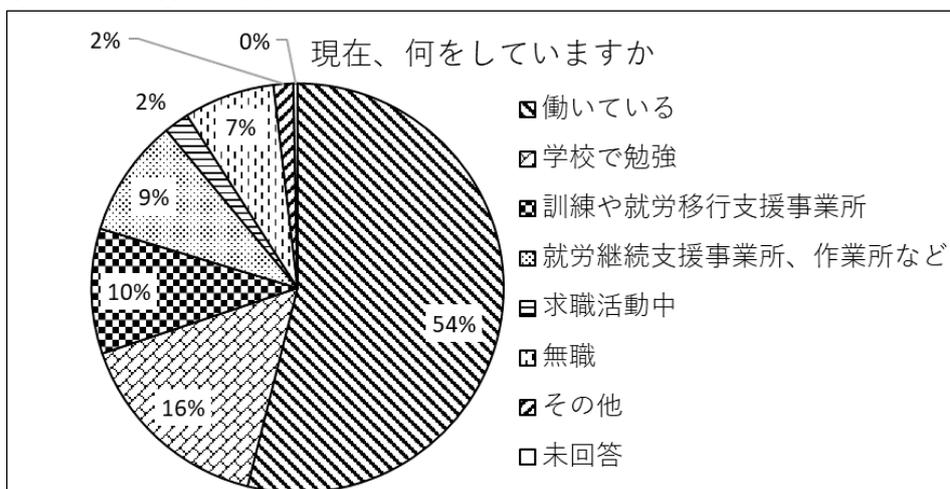
No.	都道府県名	数	比率
1	北海道	43	5%
2	青森県	0	0%
3	岩手県	5	1%
4	秋田県	3	0%
5	宮城県	29	3%
6	山形県	1	0%
7	福島県	0	0%
8	茨城県	19	2%
9	栃木県	16	2%
10	群馬県	8	1%
11	千葉県	37	4%
12	埼玉県	25	3%
13	東京都	59	6%
14	神奈川県	72	8%
15	新潟県	72	8%
16	長野県	11	1%
17	山梨県	10	1%
18	静岡県	31	3%
19	愛知県	111	12%
20	岐阜県	25	3%
21	富山県	17	2%
22	石川県	12	1%
23	福井県	5	1%
24	三重県	3	0%
25	和歌山県	1	0%
26	奈良県	14	2%
27	滋賀県	14	2%
28	京都府	0	0%
29	大阪府	84	9%
30	兵庫県	60	7%
31	岡山県	2	0%
32	鳥取県	3	0%
33	広島県	25	3%
34	島根県	0	0%
35	山口県	0	0%
36	徳島県	6	1%
37	香川県	0	0%
38	愛媛県	2	0%
39	高知県	3	0%
40	福岡県	48	5%
41	佐賀県	0	0%
42	長崎県	19	2%
43	熊本県	4	0%
44	大分県	5	1%
45	宮崎県	3	0%
46	鹿児島県	0	0%
47	沖縄県	2	0%
48	日本以外	0	0%
Z	その他	2	0%
	計	911	100%

## 6. 現在の状況

表1-1-6-1 現在の状況

現在、何をしていますか		数	比率
5a	働いている	491	54%
5b	学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している	145	16%
5c	働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している	90	10%
5d	就労継続支援事業所、作業所などを利用している	85	9%
5e	求職活動中	18	2%
5f	無職	65	7%
5Z	その他	14	2%
50	未回答	3	0%
計		911	100%

図1-1-6-1 現在の状況



・回答者の54%が、現在働いている。

表1-1-6-2-1 「年齢」別「現在の状況」

		現在の状況								計
		5a	5b	5c	5d	5e	5f	5Z	50	
年齢	2a	16	58	20	5	1	4	1	1	106
	2b	28	84	58	49	11	31	8	1	527
	2c	15	2	9	21	2	16	4	0	205
	2d	24	0	2	9	2	9	1	0	47
	2e	10	0	0	0	2	1	0	0	13
	2f	3	1	0	1	0	3	0	0	8
	20	2	0	1	0	0	1	0	1	5
	計	491	145	90	85	18	65	14	3	911

表1-1-6-2-2 「年齢」基準の「現在の状況」比率

		現在の状況								年齢
		5a	5b	5c	5d	5e	5f	5Z	50	
年齢	2a	15%	55%	19%	5%	1%	4%	1%	1%	18・19才
	2b	54%	16%	11%	9%	2%	6%	2%	0%	20才代
	2c	74%	1%	4%	10%	1%	8%	2%	0%	30才代
	2d	51%	0%	4%	19%	4%	19%	2%	0%	40才代
	2e	77%	0%	0%	0%	15%	8%	0%	0%	50才代
	2f	38%	13%	0%	13%	0%	38%	0%	0%	60才以上
	20	40%	0%	20%	0%	0%	20%	0%	20%	未回答
	計	54%	16%	10%	9%	2%	7%	2%	0%	

・「2a:18・19才」は「5b:学校で勉強している」が55%で最も多く、次いで「5c:働くための訓練や移行支援事業所に通所」が19%となり、「5a:働いている」人は15%で三番目だった。

表1-1-6-3-1 「男女別」「現在の状況」

		現在の状況								
		5a	5b	5c	5d	5e	5f	5Z	50	計
性別	3a	365	108	57	53	15	44	5	0	647
	3b	91	28	24	23	3	17	6	1	193
	3f	2	0	1	0	0	0	0	0	3
	30	33	9	8	9	0	4	3	2	68
	計	491	145	90	85	18	65	14	3	911

表1-1-6-3-2 「現在の状況」基準の「男女」比率

		現在の状況								
		5a	5b	5c	5d	5e	5f	5Z	50	計
性別	3a	<b>74%</b>	<b>74%</b>	<b>63%</b>	<b>62%</b>	<b>83%</b>	<b>68%</b>	36%	0%	<b>71%</b>
	3b	19%	19%	27%	27%	17%	26%	<b>43%</b>	33%	21%
	3f	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	30	7%	6%	9%	11%	0%	6%	21%	<b>67%</b>	7%

・現在の状況に「3a:男」「3b:女」間の差はみられない。

性別		現在、何をしていますか	
3a	男	5a	働いている
3b	女	5b	学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している
3Z	その他	5c	働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している
30	未回答	5d	就労継続支援事業所、作業所などを利用している
		5e	求職活動中
		5f	無職
		5Z	その他
		50	未回答

## 第2章 読み書き困難についての自己理解

### 1. 自分が得意だと思うこと

表1-2-1 自分が得意だと思うこと

あなたが得意なことだと思うことすべて（複数回答）		数	比率
6a	文章を読むこと	263	29%
6b	文章を書くこと	158	17%
6c	人と話すこと	190	21%
6d	説明すること	92	10%
6e	人の話を聞くこと	154	17%
6f	話す相手の言いたい内容が推測できること	79	9%
6g	計算すること	198	22%
6h	金銭管理	116	13%
6i	相手にわかりやすく話すこと	71	8%
6j	大勢で物事を進めていくこと	54	6%
6k	ひとりで物事に取り組むこと	372	41%
6l	新しい方法やアイデアを思いつくこと	177	19%
6m	細かい手作業	178	20%
6n	運動すること	164	18%
6o	手早く作業を進めること	108	12%
6p	最後まで作業を完成させること	238	26%
6q	リズム感が良いこと	142	16%
6r	その他	61	7%
6s	特になし	105	12%
60	未回答	6	1%
計		2926	321%

- ・「文章を読むこと」「文章を書くこと」が得意だと思っている人もいる。
- ・「文章を書くこと」より「文章を読むこと」のほうが得意だと思っている人が多い。
- ・「ひとりで物事に取り組むこと」は得意だと思っている人が多い。

## 2. 苦手なこと

表1-2-2-1  
自分が苦手だと  
思うこと

あなたが一番苦手なこと（本来は1個だけ選択するもの）		数	比率
7a	字を読むこと	7	1%
7b	文書を読むこと	7	1%
7c	字を手書きすること	38	4%
7d	人と話すこと	102	11%
7e	文章を手書きすること	33	4%
7f	説明すること	67	7%
7g	計算すること	55	6%
7h	金銭管理	33	4%
7i	読み書きに時間がかかること	10	1%
7j	人の話を聞くこと	24	3%
7k	相手にわかりやすく話すこと	81	9%
7l	話す相手の言いたい内容を推測すること	69	8%
7m	落ち着いて物事に取り組むこと	16	2%
7n	細かい手作業	20	2%
7o	手早く作業を進めること	30	3%
7p	整理整頓	71	8%
7q	公共の場で静かにすること	7	1%
7r	道具や用具を使うこと	1	0%
7s	その他	19	2%
7t	特になし	20	2%
70	未回答	9	1%
7W	複数回答	192	21%
7Wab	複数回答でaかbを含む	39	4%
7Wce	複数回答でcかeを含む	63	7%
7ab	全部の回答でaかbを含む	53	6%
7Nab	全部の回答でaとbを含まない	858	94%
7ce	全体の回答でcかeを含む	134	15%
7Nce	全体の回答でcとeを含まない	777	85%

表1-2-2-2  
自分が苦手だと  
思うこと  
複数回答の内訳

複数回答の内訳（複数回答者:192）		数	比率
7a	字を読むこと	23	12%
7b	文書を読むこと	34	18%
7c	字を手書きすること	47	24%
7d	人と話すこと	80	42%
7e	文章を手書きすること	45	23%
7f	説明すること	98	51%
7g	計算すること	44	23%
7h	金銭管理	50	26%
7i	読み書きに時間がかかること	33	17%
7j	人の話を聞くこと	46	24%
7k	相手にわかりやすく話すこと	103	54%
7l	話す相手の言いたい内容を推測すること	82	43%
7m	落ち着いて物事に取り組むこと	45	23%
7n	細かい手作業	54	28%
7o	手早く作業を進めること	44	23%
7p	整理整頓	83	43%
7q	公共の場で静かにすること	12	6%
7r	道具や用具を使うこと	15	8%
7s	その他	10	5%

- ・本来は1個だけ選択する設問だったが、複数回答が21%と最も多かった。
- ・「字を読むこと」「文書を読むこと」「字を手書きすること」「文章を手書きすること」が最も苦手だと思っている人は少ない。
- ・設問の指示に沿わずに複数回答してしまった人は、「相手にわかりやすく話すこと」「説明すること」「話す相手の言いたい内容を推測すること」「整理整頓」「人と話すこと」が苦手だと思っている。

### 3. 読み書きについての工夫

表1-2-3-1 読み書きについて工夫していること

書類を読んだり書いたりするときに、工夫していること		数	比率
8a	IT機器の読み上げソフトを使って確認している	17	2%
8b	パソコンやスマホで漢字を確認する	431	<b>47%</b>
8c	IT機器の音声入力ソフトを利用している	18	2%
8d	提出書類は鉛筆で下書きしている	240	26%
8e	紙の書類にパソコンで入力できるソフトを利用している	53	6%
8f	提出用紙は複数枚コピーして書き直してできるようにしている	136	15%
8g	読みやすいフォントに変換してから読んでいる	26	3%
8h	その他	61	7%
8i	特にない	303	33%
80	未回答	21	2%
計		1306	143%

表1-2-3-2-1 「年齢」別「読み書きの工夫」

	年齢								計
	2a	2b	2c	2d	2e	2f	20		
8a	3	10	1	0	2	0	1	17	
8b	49	251	93	24	10	3	1	431	
8c	1	7	7	0	2	0	1	18	
8d	30	148	46	10	3	2	1	240	
8e	6	31	10	1	3	2	0	53	
8f	14	80	27	9	5	0	1	136	
8g	4	16	3	0	2	0	1	26	
8h	6	32	14	4	2	2	1	61	
8i	33	178	72	15	1	2	2	303	
80	5	9	4	3	0	0	0	21	
計	151	762	277	66	30	11	9	1306	
実数	100	527	205	47	13	8	5	911	

年齢	
2a	18・19 才
2b	20 才代
2c	30 才代
2d	40 才代
2e	50 才代
2f	60才以上
20	未回答

表1-2-3-2-2 「年齢」基準の「読み書き工夫」比率

	年齢								計
	2a	2b	2c	2d	2e	2f	20		
8a	3%	2%	0%	0%	15%	0%	20%	2%	
8b	<b>46%</b>	<b>48%</b>	<b>45%</b>	<b>51%</b>	<b>77%</b>	<b>38%</b>	<b>20%</b>	<b>47%</b>	
8c	1%	1%	3%	0%	15%	0%	20%	2%	
8d	28%	28%	22%	21%	23%	25%	20%	26%	
8e	6%	6%	5%	2%	23%	25%	0%	6%	
8f	13%	15%	13%	19%	38%	0%	20%	15%	
8g	4%	3%	1%	0%	15%	0%	20%	3%	
8h	6%	6%	7%	9%	15%	25%	20%	7%	
8i	31%	34%	35%	32%	8%	25%	40%	33%	
80	5%	2%	2%	6%	0%	0%	0%	2%	
計	142%	145%	135%	140%	231%	138%	180%	143%	

表1-2-3-3-1 「現在の状況」別「読み書き工夫」

	現在の状況									
	5a	5b	5c	5d	5e	5f	5Z	50	計	
読み書き工夫	8a	7	5	2	0	0	2	1	0	17
	8b	245	75	44	26	10	24	7	0	431
	8c	7	5	2	2	1	0	1	0	18
	8d	122	48	26	28	7	8	1	0	240
	8e	30	9	5	2	3	4	0	0	53
	8f	69	32	11	10	4	9	1	0	136
	8g	13	7	4	1	1	0	0	0	26
	8h	36	7	4	1	0	11	2	0	61
	8i	153	38	31	40	6	29	3	3	303
	80	9	4	2	0	1	3	2	0	21
	計	691	230	131	110	33	90	18	3	1306
	実数	491	145	90	85	18	65	14	3	911

表1-2-3-3-2 「現在の状況」基準の「読み書き工夫」比率

	現在の状況									
	5a	5b	5c	5d	5e	5f	5Z	50	計	
読み書き工夫	8a	1%	3%	2%	0%	0%	3%	7%	0%	2%
	8b	<b>50%</b>	<b>52%</b>	<b>49%</b>	<b>31%</b>	<b>56%</b>	<b>37%</b>	<b>50%</b>	0%	<b>47%</b>
	8c	1%	3%	2%	2%	6%	0%	7%	0%	2%
	8d	<b>25%</b>	<b>33%</b>	<b>29%</b>	<b>33%</b>	<b>39%</b>	12%	7%	0%	<b>26%</b>
	8e	6%	6%	6%	2%	17%	6%	0%	0%	6%
	8f	14%	<b>22%</b>	12%	12%	<b>22%</b>	14%	7%	0%	15%
	8g	3%	5%	4%	1%	6%	0%	0%	0%	3%
	8h	7%	5%	4%	1%	0%	17%	14%	0%	7%
	8i	<b>31%</b>	<b>26%</b>	<b>34%</b>	<b>47%</b>	<b>33%</b>	<b>45%</b>	<b>21%</b>	<b>100%</b>	<b>33%</b>
	80	2%	3%	2%	0%	6%	5%	14%	0%	2%
	計	141%	159%	146%	129%	183%	138%	129%	100%	143%

書類を読んだり書いたりするときに、工夫していること

8a	IT機器の読み上げソフトを使って確認している
8b	パソコンやスマホで漢字を確認する
8c	IT機器の音声入力ソフトを利用している
8d	提出書類は鉛筆で下書きしている
8e	紙の書類にパソコンで入力できるソフトを利用している
8f	提出用紙は複数枚コピーして書き直しできるようにしている
8g	読みやすいフォントに変換してから読んでいる
8h	その他
8i	特にない
80	未回答

現在、何をしていますか

5a	働いている
5b	学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している
5c	働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している
5d	就労継続支援事業所、作業所などを利用している
5e	求職活動中
5f	無職
5Z	その他
50	未回答

表1-2-3-4-1 「苦手なこと」別  
「読み書き工夫」

	苦手なこと			
	7ab	7Nab	7ce	7Nce
8a	3	14	5	12
8b	23	408	76	355
8c	0	18	8	10
8d	14	226	36	204
8e	3	50	13	40
8f	13	123	24	112
8g	2	24	7	19
8h	2	59	10	51
8i	18	285	33	270
80	2	19	2	19
計	80	1226	214	1092
実数	53	858	134	777

表1-2-3-4-2 「苦手なこと」基準の  
「読み書き工夫」比率

	苦手なこと			
	7ab	7Nab	7ce	7Nce
8a	6%	2%	4%	2%
8b	<b>43%</b>	<b>48%</b>	<b>57%</b>	<b>46%</b>
8c	0%	2%	6%	1%
8d	26%	26%	27%	26%
8e	6%	6%	10%	5%
8f	25%	14%	18%	14%
8g	4%	3%	5%	2%
8h	4%	7%	7%	7%
8i	34%	33%	25%	35%
80	4%	2%	1%	2%
計	151%	143%	160%	141%

- ・「8b:パソコンやスマホで漢字を確認する」工夫は、年代別でも、現在の状況別でも、最も多い。
- ・次に「8d:提出書類は鉛筆で下書きしている」が多い。
- ・IT機器のソフトの利用等(8a:8c:8e:8g)は少ない。
- ・工夫していることは「8i:特にない」という回答も多い。
- ・自分は読み書きが苦手だと思っても、特にIT機器の読み書き支援ソフトの利用(8a:8c:8e:8g)は多くない。

書類を読んだり書いたりするときに、工夫していること

8a	IT機器の読み上げソフトを使って確認している
8b	パソコンやスマホで漢字を確認する
8c	IT機器の音声入力ソフトを利用している
8d	提出書類は鉛筆で下書きしている
8e	紙の書類にパソコンで入力できるソフトを利用している
8f	提出用紙は複数枚コピーして書き直しできるようにしている
8g	読みやすいフォントに変換してから読んでいる
8h	その他
8i	特にない
80	未回答

あなたが一番苦手なこと

7a	字を読むこと
7b	文書を読むこと
7c	字を手書きすること
7e	文章を手書きすること
7W	複数回答
7Wab	複数回答でaかbを含む
7Wce	複数回答でcかeを含む
7ab	全部の回答でaかbを含む
7Nab	全部の回答でaとbを含まない
7ce	全体の回答でcかeを含む
7Nce	全体の回答でcとeを含まない

# 第3章 読み書き困難についての社会的障壁

## 1. 街中の看板や交通機関の表示

表1-3-1-1 街中の看板や交通機関の表示でわかりにくいこと

街中の看板や交通機関の表示で、わかりにくいこと		数	比率
9a	バスや電車の行き先などが読みにくい	81	9%
9b	案内図などの字や説明がわかりにくい	178	20%
9c	バスや電車内の電光掲示などが読みにくい	45	5%
9d	背景や文字の色などが目にチカチカする	65	7%
9e	流れるテロップなどは読みにくい	99	11%
9f	アルファベットの表記などがわかりにくい	132	14%
9g	絵のサイン(表示)も意味がわからないものがある	120	13%
9h	その他	201	22%
90	未回答	315	35%
計		1236	136%

表1-3-1-2-1 「苦手なこと」別「街中の看板や交通機関の表示でわかりにくいこと」

		街中の看板や交通機関の表示									計	実数
		9a	9b	9c	9d	9e	9f	9g	9h	90		
苦手なこと	7a	1	3	0	0	1	1	0	3	1	10	7
	7b	4	4	3	2	1	2	4	0	1	21	7
	7c	11	5	2	3	6	6	3	11	9	56	38
	7d	11	17	5	10	2	9	15	20	39	128	102
	7e	3	8	1	0	8	11	5	4	9	49	33
	7f	3	16	1	2	6	8	7	15	24	82	67
	7g	5	13	3	2	8	17	6	17	11	82	55
	7h	2	5	3	4	4	8	4	10	6	46	33
	7i	1	3	0	2	4	3	1	2	1	17	10
	7j	3	3	1	4	3	2	2	3	10	31	24
	7k	6	13	2	2	9	10	13	16	30	101	81
	7l	11	21	5	7	5	13	13	15	20	110	69
	7m	1	3	0	1	2	0	1	3	7	18	16
	7n	1	4	2	2	2	1	3	1	12	28	20
	7o	2	7	2	1	6	7	6	6	11	48	30
	7p	4	15	5	6	5	8	8	19	23	93	71
	7q	1	1	1	1	2	2	2	0	3	13	7
	7r	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1
	7s	3	4	1	1	2	1	1	8	7	28	19
	7t	1	3	2	0	0	0	0	8	7	21	20
70	0	1	0	2	0	0	1	2	5	11	9	
7W	6	29	5	13	23	23	25	38	79	241	192	
7Wab	2	11	2	4	7	10	7	6	9	58	39	
7Wce	2	10	3	6	10	14	9	11	22	87	63	
7ab	7	18	5	6	9	13	11	9	11	89	53	
7Nab	74	160	40	59	90	119	109	192	308	1151	858	
7ce	16	23	6	9	24	31	17	26	40	192	134	
7Nce	65	155	39	56	75	101	103	175	275	1044	777	

あなたが一番苦手なこと		街中の看板や交通機関の表示で、わかりにくいこと	
7a	字を読むこと	9a	バスや電車の行き先などが読みにくい
7b	文書を読むこと	9b	案内図などの字や説明がわかりにくい
7c	字を手書きすること	9c	バスや電車内の電光掲示などが読みにくい
7d	人と話すこと	9d	背景や文字の色などが目にチカチカする
7e	文章を手書きすること	9e	流れるテロップなどは読みにくい
7f	説明すること	9f	アルファベットの表記などがわかりにくい
7g	計算すること	9g	絵のサイン(表示)も意味がわからないものがある
7h	金銭管理	9h	その他
7i	読み書きに時間がかかること	90	未回答
7j	人の話を聞くこと		
7k	相手にわかりやすく話すこと		
7l	話す相手の言いたい内容を推測すること		
7m	落ち着いて物事に取り組むこと		
7n	細かい手作業		
7o	手早く作業を進めること		
7p	整理整頓		
7q	公共の場で静かにすること		
7r	道具や用具を使うこと		
7s	その他		
7t	特になし		
70	未回答		
7W	複数回答		

表1-3-1-2-2 「苦手なこと」基準の「わかりにくい街中の看板や交通機関の表示」比率

		街中の看板や交通機関の表示									計
		9a	9b	9c	9d	9e	9f	9g	9h	90	
苦手なこと	7a	14%	<b>43%</b>	0%	0%	14%	14%	0%	<b>43%</b>	14%	143%
	7b	<b>57%</b>	<b>57%</b>	<b>43%</b>	29%	14%	29%	<b>57%</b>	0%	14%	300%
	7c	29%	13%	5%	8%	16%	16%	8%	29%	24%	147%
	7d	11%	17%	5%	10%	2%	9%	15%	20%	38%	125%
	7e	9%	24%	3%	0%	24%	33%	15%	12%	27%	148%
	7f	4%	24%	1%	3%	9%	12%	10%	22%	36%	122%
	7g	9%	24%	5%	4%	15%	31%	11%	31%	20%	149%
	7h	6%	15%	9%	12%	12%	24%	12%	30%	18%	139%
	7i	10%	30%	0%	20%	<b>40%</b>	30%	10%	20%	10%	170%
	7j	13%	13%	4%	17%	13%	8%	8%	13%	<b>42%</b>	129%
	7k	7%	16%	2%	2%	11%	12%	16%	20%	37%	125%
	7l	16%	30%	7%	10%	7%	19%	19%	22%	29%	159%
	7m	6%	19%	0%	6%	13%	0%	6%	19%	<b>44%</b>	113%
	7n	5%	20%	10%	10%	10%	5%	15%	5%	<b>60%</b>	140%
	7o	7%	23%	7%	3%	20%	23%	20%	20%	37%	160%
	7p	6%	21%	7%	8%	7%	11%	11%	27%	32%	131%
	7q	14%	14%	14%	14%	29%	29%	29%	0%	<b>43%</b>	186%
	7r	<b>100%</b>	0%	<b>100%</b>	0%	0%	0%	0%	0%	0%	200%
	7s	16%	21%	5%	5%	11%	5%	5%	<b>42%</b>	37%	147%
	7t	5%	15%	10%	0%	0%	0%	0%	<b>40%</b>	35%	105%
70	0%	11%	0%	22%	0%	0%	11%	22%	<b>56%</b>	122%	
7W	3%	15%	3%	7%	12%	12%	13%	20%	<b>41%</b>	126%	
7Wab	5%	28%	5%	10%	18%	26%	18%	15%	23%	149%	
7Wce	3%	16%	5%	10%	16%	22%	14%	17%	35%	138%	
7ab	13%	34%	9%	11%	17%	25%	21%	17%	21%	168%	
7Nab	9%	19%	5%	7%	10%	14%	13%	22%	36%	134%	
7ce	12%	17%	4%	7%	18%	23%	13%	19%	30%	143%	
7Nce	8%	20%	5%	7%	10%	13%	13%	23%	35%	134%	

- ・「7b:文書を読むこと」が苦手な人は、「9a:バスや電車の行き先などが読みにくい」「9b:案内図などの字や説明がわかりにくい」「9g:絵のサイン(表示)も意味がわからないものがある」割合が多い。
- ・「7i:読み書きに時間がかかる」人は、「9e:流れるテロップなどは読みにくい」割合が高い。

表1-3-1-3 現在の診断・判定・教育的判断

現在の診断・判定・教育的判断		本人と親のペア数	比率
[2]②a	LD	162	19%
[2]②b	AD/HD	158	18%
[2]②c	ディスレクシア	19	2%
[2]②d	協調性運動障害	36	4%
[2]②e	自閉症スペクトラム	660	77%
[2]②f	チック・トゥレット症	24	3%
[2]②g	知的障害	227	27%
[2]②h	その他	23	3%
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし	20	2%
[2]②0	未回答	1	0%
計		1330	155%

表1-3-1-4-1 「診断名」別「わかりにくい街中の看板や交通機関の表示」比率

診断名	街中の看板や交通機関の表示										計	実数
	9a	9b	9c	9d	9e	9f	9g	9h	9i	90		
[2]②a	16	36	11	11	22	37	18	30	50	231	162	
[2]②b	14	31	9	14	11	29	18	38	55	219	158	
[2]②c	5	5	0	3	6	8	1	1	3	32	19	
[2]②d	2	4	3	5	4	5	3	8	14	48	36	
[2]②e	48	110	27	46	56	73	76	146	256	838	660	
[2]②f	1	4	1	0	2	6	1	4	12	31	24	
[2]②g	21	62	18	13	29	56	37	54	54	344	227	
[2]②h	4	8	1	1	2	4	2	5	5	32	23	
[2]②i	1	4	1	1	2	4	3	2	9	27	20	
[2]②0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
計	112	264	71	94	134	222	159	288	459	1803	1330	
実数	69	164	38	58	84	125	107	188	303	1136	856	

表1-3-1-4-2 「診断名」基準の「わかりにくい街中の看板や交通機関の表示」比率

診断名	街中の看板や交通機関の表示										計
	9a	9b	9c	9d	9e	9f	9g	9h	9i	90	
[2]②a	10%	22%	7%	7%	14%	23%	11%	19%	31%	143%	
[2]②b	9%	20%	6%	9%	7%	18%	11%	24%	35%	139%	
[2]②c	26%	26%	0%	16%	32%	42%	5%	5%	16%	168%	
[2]②d	6%	11%	8%	14%	11%	14%	8%	22%	39%	133%	
[2]②e	7%	17%	4%	7%	8%	11%	12%	22%	39%	127%	
[2]②f	4%	17%	4%	0%	8%	25%	4%	17%	50%	129%	
[2]②g	9%	27%	8%	6%	13%	25%	16%	24%	24%	152%	
[2]②h	17%	35%	4%	4%	9%	17%	9%	22%	22%	139%	
[2]②i	5%	20%	5%	5%	10%	20%	15%	10%	45%	135%	
[2]②0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	100%	
計	8%	20%	5%	7%	10%	17%	12%	22%	35%	136%	
実数	8%	19%	4%	7%	10%	15%	13%	22%	35%	133%	

・「[2]②c:ディスレクシア」の診断がある人は、「9f:アルファベットの表記などがわかりにくい」割合が高い。

街中の看板や交通機関の表示で、わかりにくいこと

9a	バスや電車の行き先などが読みにくい
9b	案内図などの字や説明がわかりにくい
9c	バスや電車内の電光掲示などが読みにくい
9d	背景や文字の色などが目にチカチカする
9e	流れるテロップなどは読みにくい
9f	アルファベットの表記などがわかりにくい
9g	絵のサイン(表示)も意味がわからないものがある
9h	その他
90	未回答

## 2. 商品や製品の説明書・契約書

表1-3-2-1 商品や製品の説明書・契約書などでわかりにくいこと

商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと		数	比率
10a	字が小さい	152	17%
10b	文字ばかりで読みにくい	262	29%
10c	説明文がわかりにくい	382	42%
10d	図がわかりにくい	96	11%
10e	どこが重要かわかりにくい	416	46%
10f	行間が狭くて読みにくい	121	13%
10g	その他	114	13%
100	未回答	144	16%
計		1687	185%

・「どこが重要かわかりにくい」「説明文がわかりにくい」人が多い。

表1-3-2-2-1 「現在の状況」別  
「商品や製品の説明書・契約書などでわかりにくいこと」

	商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと										計	実数
	10a	10b	10c	10d	10e	10f	10g	100				
現在の状況	5a	86	127	211	56	229	62	56	61	888	491	
	5b	18	37	41	7	56	20	15	38	232	145	
	5c	14	28	36	8	40	8	14	17	165	90	
	5d	11	32	46	10	38	13	13	12	175	85	
	5e	5	8	13	3	11	5	2	2	49	18	
	5f	15	26	30	9	36	12	8	10	146	65	
	5Z	3	3	4	2	4	1	6	3	26	14	
	50	0	1	1	1	2	0	0	1	6	3	
	計	152	262	382	96	416	121	114	144	1687	911	

表1-3-2-2-2 「現在の状況」基準の「商品や製品の説明書・契約書でわかりにくいこと」比率

	商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと									計
	10a	10b	10c	10d	10e	10f	10g	100		
現在の状況	5a	18%	26%	43%	11%	47%	13%	11%	12%	181%
	5b	12%	26%	28%	5%	39%	14%	10%	26%	160%
	5c	16%	31%	40%	9%	44%	9%	16%	19%	183%
	5d	13%	38%	54%	12%	45%	15%	15%	14%	206%
	5e	28%	44%	72%	17%	61%	28%	11%	11%	272%
	5f	23%	40%	46%	14%	55%	18%	12%	15%	225%
	5Z	21%	21%	29%	14%	29%	7%	43%	21%	186%
	50	0%	33%	33%	33%	67%	0%	0%	33%	200%
	計	17%	29%	42%	11%	46%	13%	13%	16%	185%

・「5e:求職活動中」の人には、特に「10c:説明文がわかりにくい」「10e:どこが重要かわかりにくい」が多い。

現在、何をしていますか

5a	働いている
5b	学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している
5c	働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している
5d	就労継続支援事業所、作業所などを利用している
5e	求職活動中
5f	無職
5Z	その他
50	未回答

表1-3-2-3-1 「苦手なこと」別「商品や製品の説明書・契約書などでわかりにくいこと」

		商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと									計	実数
		10a	10b	10c	10d	10e	10f	10g	100			
苦手なこと	7a	字を読むこと	0	5	3	0	4	1	1	0	14	7
	7b	文書を読むこと	5	6	4	3	4	3	0	0	25	7
	7c	字を手書きすること	8	12	15	2	16	6	7	9	75	38
	7d	人と話すこと	16	23	42	5	44	9	11	19	169	102
	7e	文章を手書きすること	7	9	14	2	13	2	2	6	55	33
	7f	説明すること	12	20	34	6	30	9	3	7	121	67
	7g	計算すること	11	21	26	8	26	9	7	3	111	55
	7h	金銭管理	7	7	15	6	16	5	5	3	64	33
	7i	読み書きに時間がかかること	3	4	5	0	6	4	1	1	24	10
	7j	人の話を聞くこと	4	5	13	1	11	3	2	1	40	24
	7k	相手にわかりやすく話すこと	12	28	36	9	34	9	11	18	157	81
	7l	話す相手の言いたい内容を推測すること	7	18	31	12	45	7	6	5	131	69
	7m	落ち着いて物事に取り組むこと	0	6	6	2	10	2	2	4	32	16
	7n	細かい手作業	2	3	9	4	6	1	0	8	33	20
	7o	手早く作業を進めること	4	7	12	6	14	1	3	4	51	30
	7p	整理整頓	14	26	30	10	35	10	10	8	143	71
	7q	公共の場で静かにすること	2	4	3	1	2	3	1	1	17	7
	7r	道具や用具を使うこと	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	7s	その他	6	3	6	1	7	4	4	5	36	19
	7t	特になし	3	3	3	0	3	1	6	6	25	20
	70	未回答	2	0	0	0	2	0	1	5	10	9
	7W	複数回答	27	52	75	18	88	32	30	31	353	192
	7Wab	複数回答でaかbを含む	6	23	25	7	25	8	4	1	99	39
	7Wce	複数回答でcかeを含む	9	27	31	10	31	15	10	6	139	63
	7ab	全部の回答でaかbを含む	11	34	32	10	33	12	5	1	138	53
	7Nab	全部の回答でaとbを含まない	141	228	350	86	383	109	109	143	1549	858
	7ce	全体の回答でcかeを含む	24	48	60	14	60	23	19	21	269	134
	7Nce	全体の回答でcとeを含まない	128	214	322	82	356	98	95	123	1418	777

商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと

10a	字が小さい
10b	文字ばかりで読みにくい
10c	説明文がわかりにくい
10d	図がわかりにくい
10e	どこが重要かわかりにくい
10f	行間が狭くて読みにくい
10g	その他
100	未回答

表1-3-2-3-2

「苦手なこと」基準の「商品や製品の説明書・契約書などでわかりにくいこと」比率

		商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと								計	
		10a	10b	10c	10d	10e	10f	10g	100		
苦手なこと	7a	字を読むこと	0%	<b>71%</b>	<b>43%</b>	0%	<b>57%</b>	14%	14%	0%	200%
	7b	文書を読むこと	<b>71%</b>	<b>86%</b>	<b>57%</b>	<b>43%</b>	<b>57%</b>	<b>43%</b>	0%	0%	357%
	7c	字を手書きすること	21%	32%	39%	5%	<b>42%</b>	16%	18%	24%	197%
	7d	人と話すこと	16%	23%	<b>41%</b>	5%	<b>43%</b>	9%	11%	19%	166%
	7e	文章を手書きすること	21%	27%	<b>42%</b>	6%	39%	6%	6%	18%	167%
	7f	説明すること	18%	30%	<b>51%</b>	9%	<b>45%</b>	13%	4%	10%	181%
	7g	計算すること	20%	38%	<b>47%</b>	15%	<b>47%</b>	16%	13%	5%	202%
	7h	金銭管理	21%	21%	<b>45%</b>	18%	<b>48%</b>	15%	15%	9%	194%
	7i	読み書きに時間がかかること	30%	<b>40%</b>	<b>50%</b>	0%	<b>60%</b>	<b>40%</b>	10%	10%	240%
	7j	人の話を聞くこと	17%	21%	<b>54%</b>	4%	<b>46%</b>	13%	8%	4%	167%
	7k	相手にわかりやすく話すこと	15%	35%	<b>44%</b>	11%	<b>42%</b>	11%	14%	22%	194%
	7l	話す相手の言いたい内容を推測すること	10%	26%	<b>45%</b>	17%	<b>65%</b>	10%	9%	7%	190%
	7m	落ち着いて物事に取り組むこと	0%	38%	38%	13%	<b>63%</b>	13%	13%	25%	200%
	7n	細かい手作業	10%	15%	<b>45%</b>	20%	30%	5%	0%	<b>40%</b>	165%
	7o	手早く作業を進めること	13%	23%	<b>40%</b>	20%	<b>47%</b>	3%	10%	13%	170%
	7p	整理整頓	20%	37%	<b>42%</b>	14%	<b>49%</b>	14%	14%	11%	201%
	7q	公共の場で静かにすること	29%	<b>57%</b>	<b>43%</b>	14%	29%	<b>43%</b>	14%	14%	243%
	7r	道具や用具を使うこと	0%	0%	0%	0%	0%	0%	<b>100%</b>	0%	100%
	7s	その他	32%	16%	32%	5%	37%	21%	21%	26%	189%
	7t	特になし	15%	15%	15%	0%	15%	5%	30%	30%	125%
	70	未回答	22%	0%	0%	0%	22%	0%	11%	11%	111%
	7W	複数回答	14%	27%	39%	9%	<b>46%</b>	17%	16%	16%	184%
	7Wab	複数回答でaかbを含む	15%	<b>59%</b>	<b>64%</b>	18%	<b>64%</b>	21%	10%	3%	254%
	7Wce	複数回答でcかeを含む	14%	<b>43%</b>	<b>49%</b>	16%	<b>49%</b>	24%	16%	10%	221%
	7ab	全部の回答でaかbを含む	21%	<b>64%</b>	<b>60%</b>	19%	<b>62%</b>	23%	9%	2%	260%
	7Nab	全部の回答でaとbを含まない	16%	27%	<b>41%</b>	10%	<b>45%</b>	13%	13%	17%	181%
	7ce	全体の回答でcかeを含む	18%	36%	<b>45%</b>	10%	<b>45%</b>	17%	14%	16%	201%
	7Nce	全体の回答でcとeを含まない	16%	28%	<b>41%</b>	11%	<b>46%</b>	13%	12%	16%	182%

・「7b:文書を読むこと」が苦手な人は、「10b:文字ばかりで読みにくい」「10a:字が小さい」と困っている割合が高い。

商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと	
10a	字が小さい
10b	文字ばかりで読みにくい
10c	説明文がわかりにくい
10d	図がわかりにくい
10e	どこが重要かわかりにくい
10f	行間が狭くて読みにくい
10g	その他
100	未回答

### 3. 各種書類

#### (1) わかりにくい書類

表1-3-3-1 わかりにくい書類

あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの		数	比率
11a	健康保険や年金など役所からの書類	490	54%
11b	銀行や郵便局など金融機関からの書類	362	40%
11c	証券会社や保険会社などからの金融商品についての書類	315	35%
11d	契約についての書類	405	44%
11e	ダイレクトメールなどの勧誘郵便物	192	21%
11f	子どもの乳幼児健診の書類	10	1%
11g	子どもの保育園や幼稚園・小中学校からの書類	10	1%
11h	その他	129	14%
110	未回答	162	18%
計		2075	228%

・書類の中では、「健康保険や年金など役所からの書類」「契約についての書類」がわかりにくい人が多い。

表1-3-3-2-1 「年齢」別「わかりにくい書類」

		あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの										計	実数
		11a	11b	11c	11d	11e	11f	11g	11h	110			
年齢	2a	28	30	21	27	16	3	3	26	37	191	106	
	2b	294	207	179	234	108	3	3	70	91	1189	527	
	2c	121	88	82	103	47	1	0	24	24	490	205	
	2d	29	22	16	22	13	2	3	6	9	122	47	
	2e	8	7	9	9	3	1	1	1	1	40	13	
	2f	6	5	5	6	2	0	0	1	0	25	8	
	20	4	3	3	4	3	0	0	1	0	18	5	
	計	490	362	315	405	192	10	10	129	162	2075	911	

表1-3-3-2-2 「年齢」基準の「分かりにくい書類」比率

		あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの									
		11a	11b	11c	11d	11e	11f	11g	11h	110	計
年齢	2a	26%	28%	20%	25%	15%	3%	3%	25%	35%	180%
	2b	56%	39%	34%	44%	20%	1%	1%	13%	17%	226%
	2c	59%	43%	40%	50%	23%	0%	0%	12%	12%	239%
	2d	62%	47%	34%	47%	28%	4%	6%	13%	19%	260%
	2e	62%	54%	69%	69%	23%	8%	8%	8%	8%	308%
	2f	75%	63%	63%	75%	25%	0%	0%	13%	0%	313%
	20	80%	60%	60%	80%	60%	0%	0%	20%	0%	360%
	計	54%	40%	35%	44%	21%	1%	1%	14%	18%	228%

・各年代で触れることが多い書類に対して「わかりにくい」人が多い。

年齢	
2a	18・19 才
2b	20 才代
2c	30 才代
2d	40 才代
2e	50 才代
2f	60才以上
20	未回答

表1-3-3-3-1 「現在の状況」別「分かりにくい書類」

		あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの										
		11a	11b	11c	11d	11e	11f	11g	11h	110	計	実数
現在の状況	5a	292	209	191	238	107	5	5	62	64	1173	491
	5b	50	34	23	41	22	1	1	29	44	245	145
	5c	43	32	23	33	19	2	3	15	19	189	90
	5d	51	46	39	46	22	1	1	10	14	230	85
	5e	11	10	11	14	7	0	0	1	3	57	18
	5f	36	28	26	30	13	1	0	8	13	155	65
	5Z	6	2	2	2	1	0	0	3	4	20	14
	50	1	1	0	1	1	0	0	1	1	6	3
	計	490	362	315	405	192	10	10	129	162	2075	911

表1-3-3-3-2 「現在の状況」基準の「分かりにくい書類」比率

		あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの									
		11a	11b	11c	11d	11e	11f	11g	11h	110	計
現在の状況	5a	59%	43%	39%	48%	22%	1%	1%	13%	13%	239%
	5b	34%	23%	16%	28%	15%	1%	1%	20%	30%	169%
	5c	48%	36%	26%	37%	21%	2%	3%	17%	21%	210%
	5d	60%	54%	46%	54%	26%	1%	1%	12%	16%	271%
	5e	61%	56%	61%	78%	39%	0%	0%	6%	17%	317%
	5f	55%	43%	40%	46%	20%	2%	0%	12%	20%	238%
	5Z	43%	14%	14%	14%	7%	0%	0%	21%	29%	143%
	50	33%	33%	0%	33%	33%	0%	0%	33%	33%	200%
	計	54%	40%	35%	44%	21%	1%	1%	14%	18%	228%

・各「現在の状況」で触れることが多い書類に対して「わかりにくい」人が多い。

現在、何をしていますか

5a	働いている
5b	学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している
5c	働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している
5d	就労継続支援事業所、作業所などを利用している
5e	求職活動中
5f	無職
5Z	その他
50	未回答

あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの

11a	健康保険や年金など役所からの書類
11b	銀行や郵便局など金融機関からの書類
11c	証券会社や保険会社などからの金融商品についての書類
11d	契約についての書類
11e	ダイレクトメールなどの勧誘郵便物
11f	子どもの乳幼児健診の書類
11g	子どもの保育園や幼稚園・小中学校からの書類
11h	その他
110	未回答

(2) 医療機関の書類

医療機関の書類の読み書きについて		年齢	
14a	読みにくい	2a	18・19 才
14b	読んでも意味がわかりにくい	2b	20 才代
14c	書きにくい	2c	30 才代
14d	口頭での説明はわかる	2d	40 才代
14e	口頭での回答ができる	2e	50 才代
14f	その他	2f	60才以上
140	未回答	20	未回答

表1-3-3-4-1 「年齢」別「医療機関の書類の読み書きについて」

		医療機関の書類の読み書きについて							計	実数
		14a	14b	14c	14d	14e	14f	140		
年齢	2a	12	32	18	22	24	14	35	157	106
	2b	50	224	80	149	141	69	108	821	527
	2c	23	96	34	68	57	19	38	335	205
	2d	7	24	13	13	9	8	10	84	47
	2e	4	4	3	5	6	1	2	25	13
	2f	3	6	3	1	2	1	1	17	8
	20	2	1	2	1	1	2	0	9	5
	計	101	387	153	259	240	114	194	1448	911

表1-3-3-4-2 「年齢」基準の「医療機関の書類の読み書きについて」比率

		医療機関の書類の読み書きについて							計
		14a	14b	14c	14d	14e	14f	140	
年齢	2a	11%	30%	17%	21%	23%	13%	33%	148%
	2b	9%	43%	15%	28%	27%	13%	20%	156%
	2c	11%	47%	17%	33%	28%	9%	19%	163%
	2d	15%	51%	28%	28%	19%	17%	21%	179%
	2e	31%	31%	23%	38%	46%	8%	15%	192%
	2f	38%	75%	38%	13%	25%	13%	13%	213%
	20	40%	20%	40%	20%	20%	40%	0%	180%
	計	11%	42%	17%	28%	26%	13%	21%	159%

・年代に関係なく、「14b:読んでも意味がわかりにくい」が多い。

(3) 市役所や区役所の書類

市役所や区役所の書類の読み書きについて		年齢	
15a	読みにくい	2a	18・19 才
15b	読んでも意味がわかりにくい	2b	20 才代
15c	書きにくい	2c	30 才代
15d	口頭での説明はわかる	2d	40 才代
15e	口頭での回答ができる	2e	50 才代
15f	その他	2f	60才以上
150	未回答	20	未回答

表1-3-3-5-1 「年齢」別「市役所や区役所の書類の読み書きについて」

		市役所や区役所の書類の読み書きについて							計	実数
		15a	15b	15c	15d	15e	15f	150		
年齢	2a	14	33	15	18	15	22	34	151	106
	2b	75	269	92	123	104	65	99	827	527
	2c	32	107	41	68	49	22	30	349	205
	2d	8	26	14	12	8	8	8	84	47
	2e	4	7	6	5	5	0	2	29	13
	2f	4	6	6	1	2	1	0	20	8
	20	4	1	2	2	2	1	0	12	5
	計	141	449	176	229	185	119	173	1472	911

表1-3-3-5-2 「年齢」基準の「市役所や区役所の書類の読み書きについて」比率

		市役所や区役所の書類の読み書きについて							計
		15a	15b	15c	15d	15e	15f	150	
年齢	2a	13%	31%	14%	17%	14%	21%	32%	142%
	2b	14%	51%	17%	23%	20%	12%	19%	157%
	2c	16%	52%	20%	33%	24%	11%	15%	170%
	2d	17%	55%	30%	26%	17%	17%	17%	179%
	2e	31%	54%	46%	38%	38%	0%	15%	223%
	2f	50%	75%	75%	13%	25%	13%	0%	250%
	20	80%	20%	40%	40%	40%	20%	0%	240%
	計	15%	49%	19%	25%	20%	13%	19%	162%

・年代に関係なく、「15b:読んでも意味がわかりにくい」が多い。

(4) 書類に対する支援

どうしたらわかりやすくなると思うか		年齢	
13a	質問に丁寧に答えてくれる人がほしい	2a	18・19 才
13b	調べやすいホームページがほしい	2b	20 才代
13c	重要な箇所がわかるような書類にしてほしい	2c	30 才代
13d	わかりやすい書類の記入例がほしい	2d	40 才代
13e	文字を大きくしてほしい	2e	50 才代
13f	記入する欄を大きくしてほしい	2f	60才以上
13g	背景と文字の色の使い方を考えてほしい	20	未回答
13h	相談に乗ってくれる人がほしい		
13i	QRコードやバーコードの利用を求めてほしい		
13j	音や映像で伝えるアプリが欲しい		
13k	提出用紙をパソコンで入力できる書式でダウンロードできるようにしてほしい		
13l	手書きではなくパソコンなどの使用ができるようにしてほしい		
13m	タブレットでタッチして選択形式で記入できる申込書や申請書が欲しい		
13n	作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい		
13o	その他		
130	未回答		

表1-3-3-6-1 「年齢」別「どうしたらわかりやすくなるか」

どうしたらわかりやすくなると思うか		年齢																計	実数
	13a	13b	13c	13d	13e	13f	13g	13h	13i	13j	13k	13l	13m	13n	13o	130			
2a	39	16	33	41	11	14	9	39	7	8	8	13	24	28	8	22	320	92	
2b	239	114	192	232	53	72	41	207	33	41	65	97	86	165	36	79	1752	478	
2c	97	48	86	97	23	31	7	95	15	10	24	34	29	76	12	21	705	193	
2d	20	9	14	22	7	7	4	22	3	2	4	7	11	13	2	10	157	41	
2e	6	6	8	8	6	3	2	4	2	3	7	7	5	5	2	0	74	13	
2f	2	1	6	3	4	2	0	1	0	1	2	2	1	4	1	0	30	8	
20	2	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	1	0	9	5	
計	405	194	340	403	105	129	63	370	60	65	110	160	156	293	62	132	3047	830	

表1-3-3-6-2 「年齢」基準の「どうしたらわかりやすくなるか」比率

どうしたらわかりやすくなると思うか		年齢																計
	13a	13b	13c	13d	13e	13f	13g	13h	13i	13j	13k	13l	13m	13n	13o	130		
2a	42%	17%	36%	45%	12%	15%	10%	42%	8%	9%	9%	14%	26%	30%	9%	24%	348%	
2b	50%	24%	40%	49%	11%	15%	9%	43%	7%	9%	14%	20%	18%	35%	8%	17%	367%	
2c	50%	25%	45%	50%	12%	16%	4%	49%	8%	5%	12%	18%	15%	39%	6%	11%	365%	
2d	49%	22%	34%	54%	17%	17%	10%	54%	7%	5%	10%	17%	27%	32%	5%	24%	383%	
2e	46%	46%	62%	62%	46%	23%	15%	31%	15%	23%	54%	54%	38%	38%	15%	0%	569%	
2f	25%	13%	75%	38%	50%	25%	0%	13%	0%	13%	25%	25%	13%	50%	13%	0%	375%	
20	40%	0%	20%	0%	20%	0%	0%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	40%	20%	0%	180%	
計	49%	23%	41%	49%	13%	16%	8%	45%	7%	8%	13%	19%	19%	35%	7%	16%	367%	

- ・「13a:質問に丁寧に答えてくれる人」「13d:わかりやすい書類の記入例」「13h相談に乗ってくれる人」が欲しいという希望が多い。
- ・年代に関係なく、ICT等を利用した支援(13b,13i~13m)より「人」の支援(13a,13h,13n)を求めている人のほうが多い。

どうしたらわかりやすくなると思うか		現在、何をしていますか	
13a	質問に丁寧に答えてくれる人がほしい	5a	働いている
13b	調べやすいホームページがほしい	5b	学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している
13c	重要な箇所がわかるような書類にしてほしい	5c	働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している
13d	わかりやすい書類の記入例がほしい	5d	就労継続支援事業所、作業所などを利用している
13e	文字を大きくしてほしい	5e	求職活動中
13f	記入する欄を大きくしてほしい	5f	無職
13g	背景と文字の色の使い方を考えてほしい	5Z	その他
13h	相談に乗ってくれる人がほしい	50	未回答
13i	QRコードやバーコードの利用を求めて欲しい		
13j	音や映像で伝えるアプリが欲しい		
13k	提出用紙をパソコンで入力できる書式でダウンロードできるようにしてほしい		
13l	手書きではなくパソコンなどの使用ができるようにしてほしい		
13m	タブレットでタッチして選択形式で記入できる申込書や申請書が欲しい		
13n	作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい		
13o	その他		
130	未回答		

表1-3-3-7-1 「現在の状況」別「どうしたらわかりやすくなるか」

	どうしたらわかりやすくなるか																計	実数	
	13a	13b	13c	13d	13e	13f	13g	13h	13i	13j	13k	13l	13m	13n	13o	130			
現在の状況	5a	22	108	196	231	54	75	34	200	36	35	63	89	81	164	27	53	1671	462
	5b	46	32	42	55	9	14	8	42	10	11	20	27	31	36	9	33	426	119
	5c	45	21	35	40	15	13	6	40	5	7	8	17	15	32	8	12	319	81
	5d	48	9	31	34	11	14	8	46	2	4	4	10	9	27	6	17	280	79
	5e	10	5	8	15	3	3	1	6	2	5	5	6	6	8	2	2	90	17
	5f	26	16	23	24	10	8	4	25	5	3	7	8	11	20	6	12	208	58
	5Z	5	3	4	4	3	2	1	6	0	0	3	3	3	5	4	2	48	12
	50	0	0	1	0	0	0	1		0	0	0	0	0	1	0	1	5	2
	計	405	194	340	403	105	129	63	370	60	65	110	160	156	293	62	132	3047	830

表1-3-3-7-2 「現在の状況」基準の「どうしたらわかりやすくなるか」比率

	どうしたらわかりやすくなるか																計	
	13a	13b	13c	13d	13e	13f	13g	13h	13i	13j	13k	13l	13m	13n	13o	130		
現在の状況	5a	49%	23%	42%	50%	12%	16%	7%	43%	8%	8%	14%	19%	18%	35%	6%	11%	362%
	5b	39%	27%	35%	46%	8%	12%	7%	36%	8%	9%	17%	23%	26%	30%	8%	28%	358%
	5c	56%	26%	43%	49%	19%	16%	7%	49%	6%	9%	10%	21%	19%	40%	10%	15%	394%
	5d	61%	11%	39%	43%	14%	18%	10%	58%	3%	5%	5%	13%	11%	34%	8%	22%	354%
	5e	59%	29%	47%	68%	18%	18%	6%	53%	12%	29%	29%	35%	35%	47%	12%	12%	529%
	5f	45%	28%	40%	41%	17%	14%	7%	43%	9%	5%	12%	14%	19%	34%	10%	21%	359%
	5Z	42%	25%	33%	33%	25%	17%	8%	50%	0%	0%	25%	25%	25%	42%	33%	17%	400%
	50	0%	0%	50%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	50%	250%
	計	49%	23%	41%	49%	13%	16%	8%	45%	7%	8%	13%	19%	19%	35%	7%	16%	367%

・「5e:求職活動中」の人は、特に「13d:わかりやすい書類の記入例」が欲しいと思っている。

表1-3-3-8-1 「苦手なこと」別「どうしたらわかりやすくなるか」

	どうしたらわかりやすくなるか																計	実数
	13a	13b	13c	13d	13e	13f	13g	13h	13i	13j	13k	13l	13m	13n	13o	130		
7a	3	0	3	2	1	0	1	3	0	1	0	0	1	2	0	2	19	7
7b	2	2	2	2	2	2	2	3	2	1	2	2	2	5	0	0	31	7
7c	16	8	14	19	6	7	3	13	5	3	11	15	13	15	4	2	154	36
7d	44	19	29	39	11	8	6	37	5	6	7	13	11	28	4	22	289	89
7e	14	8	6	16	5	12	0	12	2	3	5	10	12	13	1	4	123	29
7f	29	17	30	32	4	8	5	23	2	5	4	9	7	20	3	6	204	64
7g	30	13	18	27	6	12	5	30	4	7	8	11	9	28	3	6	217	54
7h	17	7	13	15	7	6	0	14	2	2	4	8	6	10	0	2	113	32
7i	5	4	6	8	1	4	1	3	1	2	2	2	3	4	0	2	48	9
7j	12	6	9	7	2	0	2	9	1	1	2	2	3	4	2	1	63	24
7k	34	18	33	40	7	12	3	32	2	2	3	4	4	23	6	17	240	69
7l	42	19	35	46	7	6	10	42	3	5	13	15	17	39	3	5	307	66
7m	6	3	7	10	0	1	0	8	2	0	5	4	3	4	0	3	56	14
7n	9	2	7	11	2	2	2	5	1	3	3	3	4	7	0	4	65	16
7o	14	5	10	16	4	2	3	12	0	3	3	7	6	8	2	3	98	28
7p	32	13	31	30	7	10	4	29	11	3	12	17	18	21	1	10	249	66
7q	3	2	4	3	1	2	0	3	2	1	1	1	2	2	1	1	29	6
7r	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
7s	6	1	6	4	4	2	1	9	2	1	3	5	2	7	4	4	61	16
7t	5	4	4	4	1	1	1	3	0	2	1	1	0	1	4	7	39	15
70	2	2	2	1	2	0	0	3	0	1	1	1	2	0	1	3	21	5
7W	80	41	70	70	25	31	13	77	13	13	20	30	31	52	23	28	617	177
7Wab	23	10	18	16	8	9	4	23	5	5	5	6	9	13	1	0	158	39
7Wce	29	12	28	24	8	11	8	29	6	7	14	19	18	22	7	8	250	59
7ab	28	12	23	20	11	11	7	29	7	7	7	8	12	20	4	2	208	53
7Nab	377	182	317	383	94	118	56	341	53	58	103	152	144	273	58	130	2839	777
7ce	59	28	48	59	19	30	11	54	13	13	30	44	43	50	12	14	527	124
7Nce	346	166	292	344	86	99	52	316	47	52	80	116	113	243	50	118	2520	706

苦手なこと

どうしたらわかりやすくなると思うか

13a	質問に丁寧に答えてくれる人がほしい
13b	調べやすいホームページがほしい
13c	重要な箇所がわかるような書類にしてほしい
13d	わかりやすい書類の記入例がほしい
13e	文字を大きくしてほしい
13f	記入する欄を大きくしてほしい
13g	背景と文字の色の使い方を考えてほしい
13h	相談に乗ってくれる人がほしい
13i	QRコードやバーコードの利用を考えて欲しい
13j	音や映像で伝えるアプリが欲しい
13k	提出用紙をパソコンで入力できる書式でダウンロードできるようにしてほしい
13l	手書きではなくパソコンなどの使用ができるようにしてほしい
13m	タブレットでタッチして選択形式で記入できる申込書や申請書が欲しい
13n	作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい
13o	その他
130	未回答

表1-3-3-8-2 「苦手なこと」基準の「どうしたらわかりやすくなるか」比率

		どうしたらわかりやすくなるか															計		
		13a	13b	13c	13d	13e	13f	13g	13h	13i	13j	13k	13l	13m	13n	13o		13p	
苦手なこと	7a	字を読むこと	43%	0%	43%	29%	14%	0%	14%	43%	0%	14%	0%	14%	29%	0%	29%	271%	
	7b	文書を読むこと	29%	29%	29%	29%	29%	29%	29%	43%	29%	14%	29%	29%	29%	71%	0%	0%	443%
	7c	字を手書きすること	44%	22%	39%	53%	17%	19%	8%	36%	14%	8%	31%	42%	36%	42%	11%	6%	428%
	7d	人と話すこと	49%	21%	33%	44%	12%	9%	7%	42%	6%	7%	8%	15%	12%	31%	4%	25%	325%
	7e	文章を手書きすること	48%	28%	21%	55%	17%	41%	0%	41%	7%	10%	17%	34%	41%	45%	3%	14%	424%
	7f	説明すること	45%	27%	47%	50%	6%	13%	8%	36%	3%	8%	6%	14%	11%	31%	5%	9%	319%
	7g	計算すること	56%	24%	33%	50%	11%	22%	9%	56%	7%	13%	15%	20%	17%	52%	6%	11%	402%
	7h	金銭管理	53%	22%	41%	47%	22%	19%	0%	44%	6%	6%	13%	25%	19%	31%	0%	6%	353%
	7i	読み書きに時間がかかること	56%	44%	67%	89%	11%	44%	11%	33%	11%	22%	22%	22%	33%	44%	0%	22%	533%
	7j	人の話を聞くこと	50%	25%	38%	29%	8%	0%	8%	38%	4%	4%	8%	8%	13%	17%	8%	4%	263%
	7k	相手にわかりやすく話すこと	49%	26%	48%	58%	10%	17%	4%	46%	3%	3%	4%	6%	6%	33%	9%	25%	348%
	7l	相手の言いたい内容を推測	64%	29%	53%	70%	11%	9%	15%	64%	5%	8%	20%	23%	26%	59%	5%	8%	465%
	7m	落ち着いて物事に取り組むこと	43%	21%	50%	71%	0%	7%	0%	57%	14%	0%	36%	29%	21%	29%	0%	21%	400%
	7n	細かい手作業	56%	13%	44%	69%	13%	13%	13%	31%	6%	19%	19%	19%	25%	44%	0%	25%	406%
	7o	手早く作業を進めること	50%	18%	36%	57%	14%	7%	11%	43%	0%	11%	11%	25%	21%	29%	7%	11%	350%
	7p	整理整頓	48%	20%	47%	45%	11%	15%	6%	44%	17%	5%	18%	26%	27%	32%	2%	15%	377%
	7q	公共の場で静かにすること	50%	33%	67%	50%	17%	33%	0%	50%	33%	17%	17%	17%	33%	33%	17%	17%	483%
	7r	道具や用具を使うこと	0%	0%	100%	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	400%
	7s	その他	38%	6%	38%	25%	25%	13%	6%	56%	13%	6%	19%	31%	13%	44%	25%	25%	381%
	7t	特になし	33%	27%	27%	27%	7%	7%	7%	20%	0%	13%	7%	7%	0%	7%	27%	47%	260%
	70	未回答	40%	40%	40%	20%	40%	0%	0%	60%	0%	20%	20%	20%	40%	0%	20%	60%	420%
	7W	複数回答	45%	23%	40%	40%	14%	18%	7%	44%	7%	7%	11%	17%	18%	29%	13%	16%	349%
	7Wab	複数回答でaかbを含む	59%	26%	46%	41%	21%	23%	10%	59%	13%	13%	13%	15%	23%	33%	10%	0%	405%
	7Wce	複数回答でcかeを含む	49%	20%	47%	41%	14%	19%	14%	49%	10%	12%	24%	32%	31%	37%	12%	14%	424%
	7ab	全部の回答でaかbを含む	53%	23%	43%	38%	21%	21%	13%	55%	13%	13%	13%	15%	23%	38%	8%	4%	392%
	7Nab	全部の回答でaとbを含まない	49%	23%	41%	49%	12%	15%	7%	44%	7%	7%	13%	20%	19%	35%	7%	17%	365%
	7ce	全体の回答でcかeを含む	48%	23%	39%	48%	15%	24%	9%	44%	10%	10%	24%	35%	35%	40%	10%	11%	425%
7Nce	全体の回答でcとeを含まない	49%	24%	41%	49%	12%	14%	7%	45%	7%	7%	11%	16%	16%	34%	7%	17%	357%	

- ・「7b:文書を読むこと」が苦手な人は、「13n:作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい」割合が高い。
- ・「7i:読み書きに時間が掛かる」人は、「13c:重要な箇所がわかるような書類にしてほしい」「13d:わかりやすい書類の記入例がほしい」割合が高い。

どうしたらわかりやすくなると思うか

13a	質問に丁寧に答えてくれる人がほしい
13b	調べやすいホームページがほしい
13c	重要な箇所がわかるような書類にしてほしい
13d	わかりやすい書類の記入例がほしい
13e	文字を大きくしてほしい
13f	記入する欄を大きくしてほしい
13g	背景と文字の色の使い方を考えてほしい
13h	相談に乗ってくれる人がほしい
13i	QRコードやバーコードの利用を考えて欲しい
13j	音や映像で伝えるアプリが欲しい
13k	提出用紙をパソコンで入力できる書式でダウンロードできるようにしてほしい
13l	手書きではなくパソコンなどの使用ができるようにしてほしい
13m	タブレットでタッチして選択形式で記入できる申込書や申請書が欲しい
13n	作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい
13o	その他
130	未回答

表1-3-3-9-1 「分かりにくい書類」別「読み書き工夫」

	読み書き工夫											計
	8a	8b	8c	8d	8e	8f	8g	8h	8i	8o		
分かりにくい書類	11a	9	240	7	148	28	83	14	39	146	8	722
	11b	9	167	11	112	13	58	11	37	108	7	533
	11c	9	157	7	101	18	50	12	33	85	8	480
	11d	9	207	11	132	23	76	15	33	109	9	624
	11e	7	86	6	64	5	35	8	20	57	4	292
	11f	1	5	1	4	2	3	1	5	1	0	23
	11g	1	6	1	5	2	4	1	4	1	0	25
	11h	4	47	4	25	11	12	4	12	61	2	182
	11o	3	70	2	39	10	26	1	5	62	8	226
	計	52	985	50	630	112	347	67	188	630	46	3107
	実数	17	431	18	240	53	136	26	61	303	21	1306

表1-3-3-9-2 「読み書き工夫」基準の「分かりにくい書類」比率

	読み書き工夫											計
	8a	8b	8c	8d	8e	8f	8g	8h	8i	8o		
分かりにくい書類	11a	53%	56%	39%	62%	53%	61%	54%	64%	48%	38%	55%
	11b	53%	39%	61%	47%	25%	43%	42%	61%	36%	33%	41%
	11c	53%	36%	39%	42%	34%	37%	46%	54%	28%	38%	37%
	11d	53%	48%	61%	55%	43%	56%	58%	54%	36%	43%	48%
	11e	41%	20%	33%	27%	9%	26%	31%	33%	19%	19%	22%
	11f	6%	1%	6%	2%	4%	2%	4%	8%	0%	0%	2%
	11g	6%	1%	6%	2%	4%	3%	4%	7%	0%	0%	2%
	11h	24%	11%	22%	10%	21%	9%	15%	20%	20%	10%	14%
	11o	18%	16%	11%	16%	19%	19%	4%	8%	20%	38%	17%
	計	306%	229%	278%	263%	211%	255%	258%	308%	208%	219%	238%

•どのような読み書きの工夫をしても、本人宛の書類はわかりにくい。

あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの

11a	健康保険や年金など役所からの書類
11b	銀行や郵便局など金融機関からの書類
11c	証券会社や保険会社などからの金融商品についての書類
11d	契約についての書類
11e	ダイレクトメールなどの勧誘郵便物
11f	子どもの乳幼児健診の書類
11g	子どもの保育園や幼稚園・小中学校からの書類
11h	その他
11o	未回答

書類を読んだり書いたりするときに、工夫していること

8a	IT機器の読み上げソフトを使って確認している
8b	パソコンやスマホで漢字を確認する
8c	IT機器の音声入力ソフトを利用している
8d	提出書類は鉛筆で下書きしている
8e	紙の書類にパソコンで入力できるソフトを利用している
8f	提出用紙は複数枚コピーして書き直しできるようにしている
8g	読みやすいフォントに変換してから読んでいる
8h	その他
8i	特にない
8o	未回答

表1-3-3-10-1 「読み書き工夫」別「仕事や職場での困難」

	読み書き工夫										計	
	8a	8b	8c	8d	8e	8f	8g	8h	8i	8o		
仕事や職場での困難	12a	8	174	9	104	20	48	11	27	108	5	514
	12b	9	116	9	72	16	37	9	18	65	5	356
	12c	5	60	5	42	0	20	4	16	30	1	183
	12d	4	124	8	75	19	44	10	20	51	4	359
	12e	8	136	8	91	19	56	12	20	63	4	417
	12f	9	95	9	60	5	33	7	20	46	2	286
	12g	6	69	5	49	10	31	4	19	30	2	225
	12h	9	136	6	95	19	61	9	28	71	1	435
	12i	5	46	4	25	10	15	4	15	61	2	187
	12o	1	61	1	22	10	19	4	5	58	9	190
	計	64	1017	64	635	128	364	74	188	583	35	3152
	実数	17	431	18	240	53	136	26	61	303	21	1306

仕事や職場のことで、わかりにくかったり、困ったりしたこと

12a	職場に提出する年末調整の書類
12b	報告書など職場に必要な書類
12c	健康診断の問診票
12d	忘れてはいけないことの覚書などのメモ作成
12e	電話や伝言が正しくメモできない
12f	免許や資格取得のための学習や受験
12g	就職試験の学習や受験
12h	履歴書の記入
12i	その他
12o	未回答

書類を読んだり書いたりするときに、工夫していること

8a	IT機器の読み上げソフトを使って確認している
8b	パソコンやスマホで漢字を確認する
8c	IT機器の音声入力ソフトを利用している
8d	提出書類は鉛筆で下書きしている
8e	紙の書類にパソコンで入力できるソフトを利用している
8f	提出用紙は複数枚コピーして書き直しできるようにしている
8g	読みやすいフォントに変換してから読んでいる
8h	その他
8i	特にない
8o	未回答

表1-3-3-10-2 「読み書き工夫」基準の「仕事や職場での困難」比率

	読み書き工夫										計	
	8a	8b	8c	8d	8e	8f	8g	8h	8i	8o		
仕事や職場での困難	12a	47%	40%	50%	43%	38%	35%	42%	44%	36%	24%	39%
	12b	53%	27%	50%	30%	30%	27%	35%	30%	21%	24%	27%
	12c	29%	14%	28%	18%	0%	15%	15%	26%	10%	5%	14%
	12d	24%	29%	44%	31%	36%	32%	38%	33%	17%	19%	27%
	12e	47%	32%	44%	38%	36%	41%	46%	33%	21%	19%	32%
	12f	53%	22%	50%	25%	9%	24%	27%	33%	15%	10%	22%
	12g	35%	16%	28%	20%	19%	23%	15%	31%	10%	10%	17%
	12h	53%	32%	33%	40%	36%	45%	35%	46%	23%	5%	33%
	12i	29%	11%	22%	10%	19%	11%	15%	25%	20%	10%	14%
	12o	6%	14%	6%	9%	19%	14%	15%	8%	19%	43%	15%
	計	376%	236%	356%	265%	242%	268%	285%	308%	192%	167%	241%

・どのような読み書きの工夫をしても、「12a:年末調整の書類」や「12e:電話や伝言のメモ」、「12h:履歴書の記入」はわかりにくい。

仕事や職場のことで、わかりにくかったり、困ったりしたこと

12a	職場に提出する年末調整の書類
12b	報告書など職場に必要な書類
12c	健康診断の問診票
12d	忘れてはいけないことの覚書などのメモ作成
12e	電話や伝言が正しくメモできない
12f	免許や資格取得のための学習や受験
12g	就職試験の学習や受験
12h	履歴書の記入
12i	その他
12o	未回答

書類を読んだり書いたりするときに、工夫していること

8a	IT機器の読み上げソフトを使って確認している
8b	パソコンやスマホで漢字を確認する
8c	IT機器の音声入力ソフトを利用している
8d	提出書類は鉛筆で下書きしている
8e	紙の書類にパソコンで入力できるソフトを利用している
8f	提出用紙は複数枚コピーして書き直しできるようにしている
8g	読みやすいフォントに変換してから読んでいる
8h	その他
8i	特にない
8o	未回答

表1-3-3-11-1 「診断名」別「どうしたらわかりやすくなるか」

	診断名										計	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②o		
どうしたらわかりやすくなるか	13a	79	64	11	19	285	8	136	13	9	1	625
	13b	37	33	7	5	139	6	40	2	1	0	270
	13c	55	47	13	18	250	10	82	7	6	1	489
	13d	79	65	10	19	290	6	111	7	6	0	593
	13e	19	16	5	3	69	0	32	3	2	0	149
	13f	32	25	6	7	87	1	43	4	3	0	208
	13g	14	16	3	6	39	0	21	1	0	0	100
	13h	65	56	10	20	263	8	124	10	8	0	564
	13i	15	15	4	6	42	0	17	0	1	0	100
	13j	10	17	3	2	44	4	21	0	0	0	101
	13k	29	28	7	9	74	3	15	2	2	0	169
	13l	38	36	7	14	106	5	22	3	5	0	236
	13m	32	40	7	16	100	6	29	4	6	0	240
	13n	63	50	13	16	211	6	88	11	9	0	467
	13o	10	13	2	2	48	0	16	3	1	0	95
	13o	19	22	0	2	110	3	21	1	1	0	179
計	596	543	108	164	2157	66	818	71	60	2	4585	
実数	162	158	19	36	660	24	227	23	20	1	1330	

どうしたらわかりやすくなると思うか

13a	質問に丁寧に答えてくれる人がほしい
13b	調べやすいホームページがほしい
13c	重要な箇所がわかるような書類にしてほしい
13d	わかりやすい書類の記入例がほしい
13e	文字を大きくしてほしい
13f	記入する欄を大きくしてほしい
13g	背景と文字の色の使い方を考えてほしい
13h	相談に乗ってくれる人がほしい
13i	QRコードやバーコードの利用を考えて欲しい
13j	音や映像で伝えるアプリが欲しい
13k	提出用紙をパソコンで入力できる書式でダウンロードできるようにしてほしい
13l	手書きではなくパソコンなどの使用ができるようにしてほしい
13m	タブレットでタッチして選択形式で記入できる申込書や申請書が欲しい
13n	作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい
13o	その他
13o	未回答

現在の診断・判定・教育的判断

[2]②a	LD
[2]②b	AD/HD
[2]②c	ディスレクシア
[2]②d	協調性運動障害
[2]②e	自閉症スペクトラム
[2]②f	チック・トゥレット症
[2]②g	知的障害
[2]②h	その他
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし
[2]②o	未回答

表1-3-3-11-2 「診断名」基準の「どうしたらわかりやすくなるか」比率

	診断名										計	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0		
どうしたらわかりやすくなるか	13a	49%	41%	58%	53%	43%	33%	60%	57%	45%	100%	47%
	13b	23%	21%	37%	14%	21%	25%	18%	9%	5%	0%	20%
	13c	34%	30%	68%	50%	38%	42%	36%	30%	30%	100%	37%
	13d	49%	41%	53%	53%	44%	25%	49%	30%	30%	0%	45%
	13e	12%	10%	26%	8%	10%	0%	14%	13%	10%	0%	11%
	13f	20%	16%	32%	19%	13%	4%	19%	17%	15%	0%	16%
	13g	9%	10%	16%	17%	6%	0%	9%	4%	0%	0%	8%
	13h	40%	35%	53%	56%	40%	33%	55%	43%	40%	0%	42%
	13i	9%	9%	21%	17%	6%	0%	7%	0%	5%	0%	8%
	13j	6%	11%	16%	6%	7%	17%	9%	0%	0%	0%	8%
	13k	18%	18%	37%	25%	11%	13%	7%	9%	10%	0%	13%
	13l	23%	23%	37%	39%	16%	21%	10%	13%	25%	0%	18%
	13m	20%	25%	37%	44%	15%	25%	13%	17%	30%	0%	18%
	13n	39%	32%	68%	44%	32%	25%	39%	48%	45%	0%	35%
	13o	6%	8%	11%	6%	7%	0%	7%	13%	5%	0%	7%
	130	12%	14%	0%	6%	17%	13%	9%	4%	5%	0%	13%
計	368%	344%	568%	456%	327%	275%	360%	309%	300%	200%	345%	

- ・「[2]②c:ディスレクシア」の診断がある人は、「13c:重要な箇所がわかるような書類」「13n:作成した書類の確認を気軽に頼めるところ」を望んでいる割合が高い。

どうしたらわかりやすくなると思うか

13a	質問に丁寧に答えてくれる人がほしい
13b	調べやすいホームページがほしい
13c	重要な箇所がわかるような書類にしてほしい
13d	わかりやすい書類の記入例がほしい
13e	文字を大きくしてほしい
13f	記入する欄を大きくしてほしい
13g	背景と文字の色の使い方を考えてほしい
13h	相談に乗ってくれる人がほしい
13i	QRコードやバーコードの利用を考えて欲しい
13j	音や映像で伝えるアプリが欲しい
13k	提出用紙をパソコンで入力できる書式でダウンロードできるようにしてほしい
13l	手書きではなくパソコンなどの使用ができるようにしてほしい
13m	タブレットでタッチして選択形式で記入できる申込書や申請書が欲しい
13n	作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい
13o	その他
130	未回答

現在の診断・判定・教育的判断

[2]②a	LD
[2]②b	AD/HD
[2]②c	ディスレクシア
[2]②d	協調性運動障害
[2]②e	自閉症スペクトラム
[2]②f	チック・トゥレット症
[2]②g	知的障害
[2]②h	その他
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし
[2]②0	未回答

#### 4. 仕事や職場における困難

表1-3-4-1 仕事や職場における困難

仕事や職場のことで、わかりにくかったり、困ったりしたこと		数	比率
12a	職場に提出する年末調整の書類	352	39%
12b	報告書など職場で必要な書類	233	26%
12c	健康診断の問診票	118	13%
12d	忘れてはいけないことの覚書などのメモ作成	228	25%
12e	電話や伝言が正しくメモできない	252	28%
12f	免許や資格取得のための学習や受験	189	21%
12g	就職試験の学習や受験	138	15%
12h	履歴書の記入	265	29%
12i	その他	125	14%
120	未回答	144	16%
計		2044	224%

・「12a:年末調整の書類」が39%で最も多く、次いで「12h:履歴書の記入」の29%、「12e:電話や伝言のメモ」の28%となっている。

表1-3-4-2-1 「現在の状況」別「仕事や職場における困難」

	仕事や職場における困難										計	実数	
	12a	12b	12c	12d	12e	12f	12g	12h	12i	120			
現在の状況	5a	270	141	74	111	131	95	65	137	51	47	1122	491
	5b	13	24	7	42	37	30	15	39	19	43	269	145
	5c	21	17	7	27	27	14	16	27	18	18	192	90
	5d	19	23	18	22	28	24	20	31	14	13	212	85
	5e	8	11	2	7	8	8	6	8	2	1	61	18
	5f	17	13	8	16	16	14	13	18	15	17	147	65
	5Z	3	3	2	3	4	4	3	4	5	4	35	14
	50	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	6	3
	計	352	233	118	228	252	189	138	265	125	144	2044	911

表1-3-4-2-2 「現在の状況」基準の「仕事や職場における困難」比率

	仕事や職場における困難										計	
	12a	12b	12c	12d	12e	12f	12g	12h	12i	120		
現在の状況	5a	55%	29%	15%	23%	27%	19%	13%	28%	10%	10%	229%
	5b	9%	17%	5%	29%	26%	21%	10%	27%	13%	30%	186%
	5c	23%	19%	8%	30%	30%	16%	18%	30%	20%	20%	213%
	5d	22%	27%	21%	26%	33%	28%	24%	36%	16%	15%	249%
	5e	44%	61%	11%	39%	44%	44%	33%	44%	11%	6%	339%
	5f	26%	20%	12%	25%	25%	22%	20%	28%	23%	26%	226%
	5Z	21%	21%	14%	21%	29%	29%	21%	29%	36%	29%	250%
	50	33%	33%	0%	0%	33%	0%	0%	33%	33%	33%	200%
	計	39%	26%	13%	25%	28%	21%	15%	29%	14%	16%	224%

・特に「5e:求職活動中」の人は、「12b:職場で必要な書類」に対してわかりにくいと思っている。

現在、何をしていますか

5a	働いている
5b	学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している
5c	働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している
5d	就労継続支援事業所、作業所などを利用している
5e	求職活動中
5f	無職
5Z	その他
50	未回答

表1-3-4-3-1 「苦手なこと」別「仕事や職場における困難」

	仕事や職場における困難										計	実数
	12a	12b	12c	12d	12e	12f	12g	12h	12i	12o		
7a	2	2	0	0	2	2	1	2	1	2	14	7
7b	4	3	1	3	5	1	1	3	1	0	22	7
7c	19	14	8	15	13	17	8	22	5	5	126	38
7d	37	23	7	20	28	18	13	26	13	22	207	102
7e	10	2	1	6	9	7	6	10	4	0	55	33
7f	32	17	11	9	15	12	10	17	6	10	139	67
7g	22	18	14	17	14	15	14	23	11	4	152	55
7h	15	9	7	7	9	9	9	11	1	7	84	33
7i	6	3	4	3	4	3	3	3	2	1	32	10
7j	8	8	3	10	8	6	4	9	2	2	60	24
7k	30	24	6	17	19	10	9	19	11	18	163	81
7l	30	21	11	24	27	12	13	20	7	3	168	69
7m	4	3	1	6	3	4	2	5	1	4	33	16
7n	7	5	1	7	3	3	4	5	1	5	41	20
7o	11	6	3	7	11	7	1	12	3	4	65	30
7p	25	16	8	15	22	12	6	20	8	16	148	71
7q	5	3	1	2	2	2	1	1	0	1	18	7
7r	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1
7s	4	4	4	3	5	5	4	8	5	4	46	19
7t	6	3	2	2	2	1	1	0	7	4	28	20
7o	1	2	1	0	0	2	0	1	2	4	13	9
7W	73	47	24	54	51	41	28	48	34	28	428	192
7Wab	17	14	11	16	14	14	11	13	5	5	120	39
7Wce	26	19	11	19	22	12	13	17	11	11	161	63
7ab	23	19	12	19	21	17	13	18	7	7	156	53
7Nab	329	214	106	209	231	172	125	247	118	137	1888	858
7ce	55	35	20	40	44	36	27	49	20	16	342	134
7Nce	297	198	98	188	208	153	111	216	105	128	1702	777

苦手なこと

仕事や職場のことで、わかりにくかったり、困ったりしたこと

12a	職場に提出する年末調整の書類
12b	報告書など職場で必要な書類
12c	健康診断の問診票
12d	忘れてはいけないことの覚書などのメモ作成
12e	電話や伝言が正しくメモできない
12f	免許や資格取得のための学習や受験
12g	就職試験の学習や受験
12h	履歴書の記入
12i	その他
12o	未回答

表1-3-4-3-2 「苦手なこと」基準の「仕事や職場における困難」比率

		仕事や職場における困難										計	
		12a	12b	12c	12d	12e	12f	12g	12h	12i	12o		
苦手なこと	7a	字を読むこと	29%	29%	0%	0%	29%	29%	14%	29%	14%	29%	200%
	7b	文書を読むこと	57%	43%	14%	43%	71%	14%	14%	43%	14%	0%	314%
	7c	字を手書きすること	50%	37%	21%	39%	34%	45%	21%	58%	13%	13%	332%
	7d	人と話すこと	36%	23%	7%	20%	27%	18%	13%	25%	13%	22%	203%
	7e	文章を手書きすること	30%	6%	3%	18%	27%	21%	18%	30%	12%	0%	167%
	7f	説明すること	48%	25%	16%	13%	22%	18%	15%	25%	9%	15%	207%
	7g	計算すること	40%	33%	25%	31%	25%	27%	25%	42%	20%	7%	276%
	7h	金銭管理	45%	27%	21%	21%	27%	27%	27%	33%	3%	21%	255%
	7i	読み書きに時間がかかること	60%	30%	40%	30%	40%	30%	30%	30%	20%	10%	320%
	7j	人の話を聞くこと	33%	33%	13%	42%	33%	25%	17%	38%	8%	8%	250%
	7k	相手にわかりやすく話すこと	37%	30%	7%	21%	23%	12%	11%	23%	14%	22%	201%
	7l	話す相手の言いたい内容を推測すること	43%	30%	16%	35%	39%	17%	19%	29%	10%	4%	243%
	7m	落ち着いて物事に取り組むこと	25%	19%	6%	38%	19%	25%	13%	31%	6%	25%	206%
	7n	細かい手作業	35%	25%	5%	35%	15%	15%	20%	25%	5%	25%	205%
	7o	手早く作業を進めること	37%	20%	10%	23%	37%	23%	3%	40%	10%	13%	217%
	7p	整理整頓	35%	23%	11%	21%	31%	17%	8%	28%	11%	23%	208%
	7q	公共の場で静かにすること	71%	43%	14%	29%	29%	29%	14%	14%	0%	14%	257%
	7r	道具や用具を使うこと	100%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	200%
	7s	その他	21%	21%	21%	16%	26%	26%	21%	42%	26%	21%	242%
	7t	特になし	30%	15%	10%	10%	10%	5%	5%	0%	35%	20%	140%
	7o	未回答	11%	22%	11%	0%	0%	22%	0%	11%	22%	44%	144%
	7W	複数回答	38%	24%	13%	28%	27%	21%	15%	25%	18%	15%	223%
	7Wab	複数回答でaかbを含む	44%	36%	28%	41%	36%	36%	28%	33%	13%	13%	308%
	7Wce	複数回答でcかeを含む	41%	30%	17%	30%	35%	19%	21%	27%	17%	17%	256%
	7ab	全部の回答でaかbを含む	43%	36%	23%	36%	40%	32%	25%	34%	13%	13%	294%
	7Nab	全部の回答でaとbを含まない	38%	25%	12%	24%	27%	20%	15%	29%	14%	16%	220%
7ce	全体の回答でcかeを含む	41%	26%	15%	30%	33%	27%	20%	37%	15%	12%	255%	
7Nce	全体の回答でcとeを含まない	38%	25%	13%	24%	27%	20%	14%	28%	14%	16%	219%	

・「7b:文書を読むこと」が苦手な人は、「12e:電話や伝言が正しくメモできない」ことで困っている割合が高い。

仕事や職場のことで、わかりにくかったり、困ったりしたこと

12a	職場に提出する年末調整の書類
12b	報告書など職場で必要な書類
12c	健康診断の間診票
12d	忘れてはいけないことの覚書などのメモ作成
12e	電話や伝言が正しくメモできない
12f	免許や資格取得のための学習や受験
12g	就職試験の学習や受験
12h	履歴書の記入
12i	その他
12o	未回答

表1-3-4-4-1 「診断名」別「仕事や職場における困難」

診断名	仕事や職場における困難										計	実数
	12a	12b	12c	12d	12e	12f	12g	12h	12i	12o		
[2]②a	61	41	17	40	53	34	26	54	25	21	372	162
[2]②b	54	37	11	44	42	35	24	44	25	27	2595	158
[2]②c	6	6	3	6	9	9	6	10	3	2	60	19
[2]②d	9	9	6	14	16	8	7	11	2	3	85	36
[2]②e	237	165	85	170	182	124	87	188	91	110	1439	660
[2]②f	6	1	0	3	4	4	1	5	2	11	37	24
[2]②g	122	79	56	55	75	61	56	75	26	26	631	227
[2]②h	7	4	2	2	6	4	6	10	4	2	47	23
[2]②i	5	3	1	6	4	4	3	4	1	4	35	20
[2]②o	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	6	1
計	508	346	181	341	391	284	217	402	179	206	3055	1330

表1-3-4-4-2 「診断名」基準の「仕事や職場における困難」比率

診断名	仕事や職場における困難										計
	12a	12b	12c	12d	12e	12f	12g	12h	12i	12o	
[2]②a	38%	25%	10%	25%	33%	21%	16%	33%	15%	13%	230%
[2]②b	34%	23%	7%	28%	27%	22%	15%	28%	16%	17%	1642%
[2]②c	32%	32%	16%	32%	<b>47%</b>	<b>47%</b>	32%	<b>53%</b>	16%	11%	316%
[2]②d	25%	25%	17%	39%	<b>44%</b>	22%	19%	31%	6%	8%	236%
[2]②e	36%	25%	13%	26%	28%	19%	13%	28%	14%	17%	218%
[2]②f	25%	4%	0%	13%	17%	17%	4%	21%	8%	<b>46%</b>	154%
[2]②g	<b>54%</b>	35%	25%	24%	33%	27%	25%	33%	11%	11%	278%
[2]②h	30%	17%	9%	9%	26%	17%	26%	<b>43%</b>	17%	9%	204%
[2]②i	25%	15%	5%	30%	20%	20%	15%	20%	5%	20%	175%
[2]②o	<b>100%</b>	<b>100%</b>	0%	<b>100%</b>	0%	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	0%	0%	600%
計	38%	26%	14%	26%	29%	21%	16%	30%	13%	15%	230%

・「[2]②c:ディスレクシア」の診断がある人は、「12e:電話や伝言が正しくメモできない」「12f:免許や資格取得のための学習や受験」「12h:履歴書の記入」で困っている割合が高い。

仕事や職場のことで、わかりにくかったり、困ったりしたこと	現在の診断・判定・教育的判断
12a 職場に提出する年末調整の書類	[2]②a LD
12b 報告書など職場で必要な書類	[2]②b AD/HD
12c 健康診断の間診票	[2]②c ディスレクシア
12d 忘れてはいけないことの覚書などのメモ作成	[2]②d 協調性運動障害
12e 電話や伝言が正しくメモできない	[2]②e 自閉症スペクトラム
12f 免許や資格取得のための学習や受験	[2]②f チック・トゥレット症
12g 就職試験の学習や受験	[2]②g 知的障害
12h 履歴書の記入	[2]②h その他
12i その他	[2]②i 診断・判定・教育的判断なし
12o 未回答	[2]②o 未回答

## 5. 選挙の際の困難

選挙の時に困ったこと		年齢	
16a	選挙の案内通知が読みにくい	2a	18・19 才
16b	選挙公報などが読みにくい	2b	20 才代
16c	投票用紙に字が書きにくい	2c	30 才代
16d	候補者氏名の漢字が書きにくい	2d	40 才代
16e	選挙に行ったことがない	2e	50 才代
16f	その他	2f	60才以上
160	未回答	20	未回答

表1-3-5-1-1 「年齢」別「選挙の際の困難」

年齢	選挙の際の困難							計	実数
	16a	16b	16c	16d	16e	16f	160		
2a	7	14	8	12	27	19	43	130	106
2b	63	112	25	73	57	127	163	620	527
2c	16	46	12	34	14	44	72	238	205
2d	6	10	3	6	3	12	19	59	47
2e	3	6	2	2	0	1	5	19	13
2f	2	4	0	3	1	1	1	12	8
20	1	1	1	1	2	1	0	7	5
計	98	193	51	131	104	205	303	1085	911

表1-3-5-1-2 「年齢」基準の「選挙の際の困難」比率

年齢	選挙の際の困難							計
	16a	16b	16c	16d	16e	16f	160	
2a	7%	13%	8%	11%	25%	18%	<b>41%</b>	123%
2b	12%	21%	5%	14%	11%	24%	31%	118%
2c	8%	22%	6%	17%	7%	21%	35%	116%
2d	13%	21%	6%	13%	6%	26%	<b>40%</b>	126%
2e	23%	<b>46%</b>	15%	15%	0%	8%	38%	146%
2f	25%	<b>50%</b>	0%	38%	13%	13%	13%	150%
20	20%	20%	20%	20%	<b>40%</b>	20%	0%	140%
計	11%	21%	6%	14%	11%	23%	33%	119%

・年代にかかわらず「16b:選挙公報などが読みにくい」割合が多い。

表1-3-5-2-1 「苦手なこと」別「選挙の際の困難」

		選挙の際の困難								計	実数
		16a	16b	16c	16d	16e	16f	160			
苦手なこと	7a	字を読むこと	2	2	0	0	2	2	1	9	7
	7b	文書を読むこと	3	4	1	1	1	0	1	11	7
	7c	字を手書きすること	2	7	6	13	6	8	9	51	38
	7d	人と話すこと	7	16	2	12	14	21	39	111	102
	7e	文章を手書きすること	1	6	4	8	6	5	11	41	33
	7f	説明すること	2	13	3	6	6	12	28	70	67
	7g	計算すること	4	9	4	10	11	15	14	67	55
	7h	金銭管理	1	9	1	4	5	6	10	36	33
	7i	読み書きに時間がかかること	3	5		3	2	1	1	15	10
	7j	人の話を聞くこと	4	7	3	3	1	5	7	30	24
	7k	相手にわかりやすく話すこと	11	19	5	12	6	17	29	99	81
	7l	話す相手の言いたい内容を推測すること	10	20	2	5	8	16	22	83	69
	7m	落ち着いて物事に取り組むこと	1	4	0	2	2	4	6	19	16
	7n	細かい手作業	1	4	1	2	1	2	10	21	20
	7o	手早く作業を進めること	5	6	1	3	1	11	10	37	30
	7p	整理整頓	4	13	3	12	9	17	26	84	71
	7q	公共の場で静かにすること	2	1	0	1	1	2	1	8	7
	7r	道具や用具を使うこと	0	1	0	1	0	0	0	2	1
	7s	その他	3	3	2	4	0	8	5	25	19
	7t	特になし	4	2	1	1	0	7	7	22	20
	70	未回答	0	1	0	0	2	3	3	9	9
	7W	複数回答	28	41	12	28	20	43	63	235	192
	7Wab	複数回答でaかbを含む	11	15	5	8	5	7	5	56	39
	7Wce	複数回答でcかeを含む	12	16	7	15	8	10	17	85	63
	7ab	全部の回答でaかbを含む	16	21	6	9	8	9	7	76	53
	7Nab	全部の回答でaとbを含まない	82	172	45	122	96	196	296	1009	858
	7ce	全体の回答でcかeを含む	15	29	17	36	20	23	37	177	134
	7Nce	全体の回答でcとeを含まない	83	164	34	95	84	182	266	908	777

選挙の時に困ったこと

16a	選挙の案内通知が読みにくい
16b	選挙公報などが読みにくい
16c	投票用紙に字が書きにくい
16d	候補者氏名の漢字が書きにくい
16e	選挙に行ったことがない
16f	その他
160	未回答

表1-3-5-2-2 「苦手なこと」基準の「選挙の際の困難」比率

		選挙の際の困難							計	
		16a	16b	16c	16d	16e	16f	16g		
苦手なこと	7a	字を読むこと	29%	29%	0%	0%	29%	29%	14%	129%
	7b	文書を読むこと	<b>43%</b>	<b>57%</b>	14%	14%	14%	0%	14%	157%
	7c	字を手書きすること	5%	18%	16%	34%	16%	21%	24%	134%
	7d	人と話すこと	7%	16%	2%	12%	14%	21%	38%	109%
	7e	文章を手書きすること	3%	18%	12%	24%	18%	15%	33%	124%
	7f	説明すること	3%	19%	4%	9%	9%	18%	<b>42%</b>	104%
	7g	計算すること	7%	16%	7%	18%	20%	27%	25%	122%
	7h	金銭管理	3%	27%	3%	12%	15%	18%	30%	109%
	7i	読み書きに時間がかかること	30%	<b>50%</b>	0%	30%	20%	10%	10%	150%
	7j	人の話を聞くこと	17%	29%	13%	13%	4%	21%	29%	125%
	7k	相手にわかりやすく話すこと	14%	23%	6%	15%	7%	21%	36%	122%
	7l	話す相手の言いたい内容を推測すること	14%	29%	3%	7%	12%	23%	32%	120%
	7m	落ち着いて物事に取り組むこと	6%	25%	0%	13%	13%	25%	38%	119%
	7n	細かい手作業	5%	20%	5%	10%	5%	10%	<b>50%</b>	105%
	7o	手早く作業を進めること	17%	20%	3%	10%	3%	37%	33%	123%
	7p	整理整頓	6%	18%	4%	17%	13%	24%	37%	118%
	7q	公共の場で静かにすること	29%	14%	0%	14%	14%	29%	14%	114%
	7r	道具や用具を使うこと	0%	<b>100%</b>	0%	<b>100%</b>	0%	0%	0%	200%
	7s	その他	16%	16%	11%	21%	0%	<b>42%</b>	26%	132%
	7t	特になし	20%	10%	5%	5%	0%	35%	35%	110%
	70	未回答	0%	11%	0%	0%	22%	33%	33%	100%
	7W	複数回答	15%	21%	6%	15%	10%	22%	33%	122%
	7Wab	複数回答でaかbを含む	28%	38%	13%	21%	13%	18%	13%	144%
	7Wce	複数回答でcかeを含む	19%	25%	11%	24%	13%	16%	27%	135%
7ab	全部の回答でaかbを含む	30%	40%	11%	17%	15%	17%	13%	143%	
7Nab	全部の回答でaとbを含まない	10%	20%	5%	14%	11%	23%	34%	118%	
7ce	全体の回答でcかeを含む	11%	22%	13%	27%	15%	17%	28%	132%	
7Nce	全体の回答でcとeを含まない	11%	21%	4%	12%	11%	23%	34%	117%	

・「7b:文書を読むこと」が苦手な人は、「16b:選挙公報などが読みにくい」「16a:選挙の案内通知が読みにくい」割合が高い。

選挙の時に困ったこと

16a	選挙の案内通知が読みにくい
16b	選挙公報などが読みにくい
16c	投票用紙に字が書きにくい
16d	候補者氏名の漢字が書きにくい
16e	選挙に行ったことがない
16f	その他
16g	未回答

# 調査の結果

## 第Ⅱ部 発達障害者の親対象の アンケート調査

# 第1章 アンケート調査の概要

## 1. 目的

DD(発達性読み書き障害)が顕在化しにくい理由として、まず、DDがASD(自閉スペクトラム症)やADHD(注意欠如・多動症)など他の発達障害と併存することが多く、行動や情緒の特性のほうが目されやすいことが挙げられる。そして、読み書き障害がある子どもたちの困難さは、読字・書字が苦手であるということ以上に、その障害が理解されないことにあり、理不尽に叱責されたりして「自信が持てない」「自尊感情が低い」「他者依存傾向が強い」といった人格の形成にも影響を与えるという。

読み書きが苦手な子どもたちは成長し、おとなになり、読み書きが必要とされない職業を選んで就職していく。社会に出ると、「読み書き」よりは、社会性のほうが課題になることも多く、親は子どもが学校に通っていたときには苦勞してきた「読み書き困難」については、差し迫った課題として挙げることも少なくなる。しかし、発達障害のある子どもをサポートしているのは親や家族であり、親亡き後の支援については、大きな課題である。

親は子どものライフステージを通じて、発達障害と向き合ってきた。幼少期から学齢期、成人後の各ライフステージにおいて、子どもの読み書き困難と支援との関連について考察する。

## 2. 実施要領

- (1) 調査主体 NPO法人全国LD親の会
- (2) 調査期間 2018年10月～2018年11月 アンケートの実施・回収  
2018年11月～2018年12月 アンケートの集計  
2018年12月～2019年3月 アンケートの分析、報告書の作成
- (3) 調査方法 全国LD親の会より、協力依頼した発達障害者団体事務局に調査票を送付  
各団体事務局から各会員に送付  
回答用紙は回答者より、アンケート回収・データ集計委託先に郵送
- (4) 調査対象者 18才以上の発達障害者の親2,021人  
回答者数:1,070人 (回収率 52.9%)  
使用データ数:1,069件
- (5) 調査領域 ① 回答者の属性(子どもの年代、都道府県)  
② 子どもの診断・判定の状況  
③ 初診の時期  
④ 読み書きについての療育や指導の状況  
⑤ 二次障害について  
⑥ 障害者手帳の取得  
⑦ 障害者基礎年金の受給状況  
⑧ 現在の状況
- (6) 分析方法 統計処理はクロス集計表を作り、おこなった。

### 3. 都道府県別回答者数

表2-1-3

No.	都道府県名	数	比率
1	北海道	64	6%
2	青森県	0	0%
3	岩手県	5	0%
4	秋田県	8	1%
5	宮城県	28	3%
6	山形県	1	0%
7	福島県	1	0%
8	茨城県	27	3%
9	栃木県	19	2%
10	群馬県	11	1%
11	千葉県	39	4%
12	埼玉県	29	3%
13	東京都	57	5%
14	神奈川県	79	7%
15	新潟県	89	8%
16	長野県	14	1%
17	山梨県	13	1%
18	静岡県	41	4%
19	愛知県	132	12%
20	岐阜県	31	3%
21	富山県	20	2%
22	石川県	18	2%
23	福井県	6	1%
24	三重県	4	0%
25	和歌山県	0	0%
26	奈良県	16	1%
27	滋賀県	15	1%
28	京都府	2	0%
29	大阪府	85	8%
30	兵庫県	75	7%
31	岡山県	2	0%
32	鳥取県	3	0%
33	広島県	30	3%
34	島根県	0	0%
35	山口県	0	0%
36	徳島県	8	1%
37	香川県	0	0%
38	愛媛県	2	0%
39	高知県	1	0%
40	福岡県	54	5%
41	佐賀県	1	0%
42	長崎県	23	2%
43	熊本県	6	1%
44	大分県	2	0%
45	宮崎県	5	0%
46	鹿児島県	0	0%
47	沖縄県	3	0%
48	日本以外	0	0%
Z	その他	0	0%
	計	1069	100%

#### 4. 子どもの年代と診断・判定の状況

表2-1-4-1

子どもの年代	数	比率
[2]①a 18・19 才	133	12%
[2]①b 20 才代	647	<b>61%</b>
[2]①c 30 才代	240	22%
[2]①d 40 才代	37	3%
[2]①e 50 才代	3	0%
[2]①W 複数回答	4	0%
[2]①0 未回答	5	0%
計	1069	100%

表2-1-4-2-1 「子どもの年代」と「診断・判定・教育的判断」

	診断・判定・教育的判断										計	実数	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0			
子どもの年代	[2]①a	22	33	2	8	102	5	23	2	8	0	205	133
	[2]①b	109	126	21	22	520	13	147	16	17	1	992	647
	[2]①c	48	27	4	8	153	6	71	10	11	1	339	240
	[2]①d	13	4	0	3	20	1	13	2	1	0	57	37
	[2]①e	1	0	1	0	2	0	1	0	0	0	5	3
	[2]①W	1	3	0	0	3	0	2	1	0	0	10	4
	[2]①0	2	0	0	0	5	0	2	0	0	0	9	5
計	196	193	28	41	805	25	259	31	37	2	1617	1069	

表2-1-4-2-2 「子どもの年代」基準の「診断・判定・教育的判断」比率

	診断・判定・教育的判断										計	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0		
子どもの年代	[2]①a	17%	25%	2%	6%	<b>77%</b>	4%	17%	2%	6%	0%	154%
	[2]①b	17%	19%	3%	3%	<b>80%</b>	2%	23%	2%	3%	0%	153%
	[2]①c	20%	11%	2%	3%	<b>64%</b>	3%	30%	4%	5%	0%	141%
	[2]①d	35%	11%	0%	8%	<b>54%</b>	3%	35%	5%	3%	0%	154%
	[2]①e	33%	0%	33%	0%	<b>67%</b>	0%	33%	0%	0%	0%	167%
	[2]①W	25%	<b>75%</b>	0%	0%	<b>75%</b>	0%	<b>50%</b>	25%	0%	0%	250%
	[2]①0	<b>40%</b>	0%	0%	0%	<b>100%</b>	0%	<b>40%</b>	0%	0%	0%	180%
計	18%	18%	3%	4%	<b>75%</b>	2%	24%	3%	3%	0%	151%	

- ・回答者の子どもの約6割が「[2]①b:20才代」、2割が「[2]①c:30才代」である。
- ・「[2]②e:自閉症スペクトラム」の診断名がある子どもが多い。

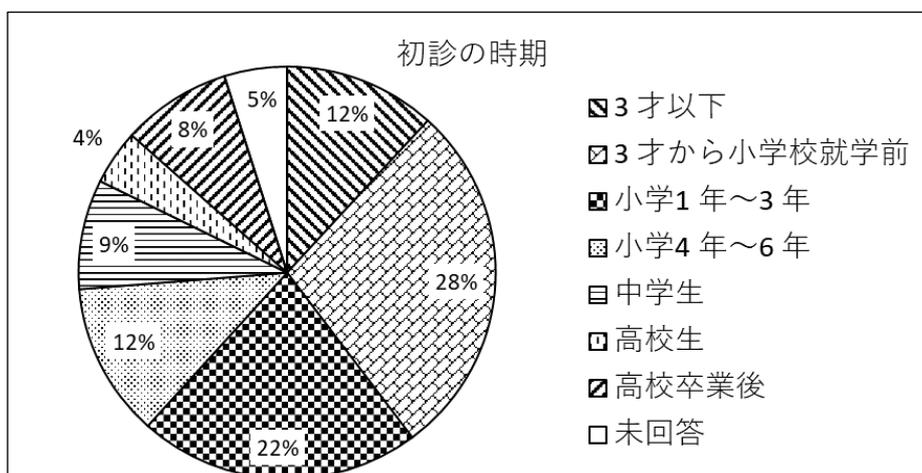
	現在の診断・判定・教育的判断
[2]②a	LD
[2]②b	AD/HD
[2]②c	ディスレクシア
[2]②d	協調性運動障害
[2]②e	自閉症スペクトラム
[2]②f	チック・トゥレット症
[2]②g	知的障害
[2]②h	その他
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし
[2]②0	未回答

## 5. 初診の時期

表2-1-5

子どもが一番初めに診断された時期	数	比率
[2]③a 3才以下	126	12%
[2]③b 3才から小学校就学前	299	28%
[2]③c 小学1年～3年	234	22%
[2]③d 小学4年～6年	129	12%
[2]③e 中学生	92	9%
[2]③f 高校生	46	4%
[2]③g 高校卒業後	91	9%
[2]③0 未回答	52	5%
計	1069	100%

図2-1-5



・初めに診断されたのは、「3才から小学校就学前」が28%、「小学1年～3年」が22%が多い。

## 6. 読み書きについての療育や指導の状況

表2-1-6-1

読み書きについて療育や指導を受けたことがあるか	数	比率
[2]④a ある	499	47%
[2]④k ない	554	52%
[2]④0 未回答	16	1%
計	1069	100%

・全体の47%が読み書きについて療育や指導を受けている。

表2-1-6-2

読み書きについて療育や指導を受けた場所	数	比率
[2]④b 学校	301	60%
[2]④c 児童発達支援センター	47	9%
[2]④d 療育センター	80	16%
[2]④e 医療機関併設の療育機関	83	17%
[2]④f 大学等研究機関	56	11%
[2]④g 児童発達支援事業所	14	3%
[2]④h 放課後等デイサービス事業所	16	3%
[2]④i 学習塾	89	18%
[2]④j その他	61	12%
計	747	150%

・読み書きについて療育や指導を受けた場所は「[2]④b:学校」の次に「[2]④i:学習塾」が多くなっている。

表2-1-6-3

学校で指導を受けた場合、どこで読み書きの指導を受けたか		数	比率
[2]⑤a	通常の学級	78	26%
[2]⑤b	通級	127	42%
[2]⑤c	支援学級	129	43%
[2]⑤d	支援学校	24	8%
[2]⑤0	未回答	1	0%
計		359	119%

・学校で読み書きの指導を受けた場合、「[2]⑤b:通級」と「[2]⑤c:支援学級」が多い。

表2-1-6-4-1 「診断・判定」と「読み書きについての療育や指導の状況」

		診断・判定・教育的判断										計	実数
		[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0		
有無	[2]④a	127	89	20	25	355	9	161	11	18	1	811	499
	[2]④k	70	102	8	16	438	15	93	20	18	1	781	554
	[2]④0	4	2	0	0	12	1	5	0	1	0	25	16
	計	196	193	28	41	805	25	259	31	37	2	1617	1069
療育・指導場所	[2]④b	71	48	13	11	223	3	101	7	14	0	491	301
	[2]④c	9	9	0	2	34	1	18	1	3	0	77	47
	[2]④d	14	10	3	3	54	1	29	1	4	1	120	80
	[2]④e	20	12	1	5	63	2	27	3	3	0	136	83
	[2]④f	27	14	9	8	34	2	10	0	2	0	106	56
	[2]④g	4	3	0	0	11	0	6	0	0	0	24	14
	[2]④h	5	2	1	2	15	0	4	0	1	0	30	16
	[2]④i	19	20	2	8	68	1	29	1	2	0	150	89
	[2]④j	17	9	2	4	43	2	19	2	4	0	102	61
	計	186	127	31	43	545	12	243	15	33	1	1236	747
学校内	[2]⑤a	21	18	4	2	55	3	19	1	3	0	126	78
	[2]⑤b	37	24	8	7	89	0	37	4	10	0	216	127
	[2]⑤c	25	18	3	2	100	0	56	2	3	0	209	129
	[2]⑤d	2	2	0	0	18	0	15	0	1	0	38	24
	[2]⑤0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1

	読み書きについて療育や指導を受けたことがあるか
[2]④a	ある
[2]④k	ない
[2]④0	未回答

	読み書きについて療育や指導を受けた場所	現在の診断・判定・教育的判断
[2]④b	学校	[2]②a LD
[2]④c	児童発達支援センター	[2]②b AD/HD
[2]④d	療育センター	[2]②c ディスレクシア
[2]④e	医療機関併設の療育機関	[2]②d 協調性運動障害
[2]④f	大学等研究機関	[2]②e 自閉症スペクトラム
[2]④g	児童発達支援事業所	[2]②f チック・トゥレット症
[2]④h	放課後等デイサービス事業所	[2]②g 知的障害
[2]④i	学習塾	[2]②h その他
[2]④j	その他	[2]②i 診断・判定・教育的判断なし
		[2]②0 未回答

表2-1-6-4-2 「診断・判定」基準の「読み書きについての療育や指導の状況」比率

	診断・判定・教育的判断										計	実数	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②o			
有無	[2]④a	62%	46%	71%	61%	44%	36%	62%	35%	49%	50%	50%	47%
	[2]④k	36%	53%	29%	39%	54%	60%	36%	65%	49%	50%	48%	52%
	[2]④o	2%	1%	0%	0%	1%	4%	2%	0%	3%	0%	2%	1%
療育・指導場所	[2]④b	58%	54%	65%	44%	63%	33%	63%	64%	78%	0%	61%	60%
	[2]④c	7%	10%	0%	8%	10%	11%	11%	9%	17%	0%	9%	9%
	[2]④d	11%	11%	15%	12%	15%	11%	18%	9%	22%	100%	15%	16%
	[2]④e	16%	13%	5%	20%	18%	22%	17%	27%	17%	0%	17%	17%
	[2]④f	22%	16%	45%	32%	10%	22%	6%	0%	11%	0%	13%	11%
	[2]④g	3%	3%	0%	0%	3%	0%	4%	0%	0%	0%	3%	3%
	[2]④h	4%	2%	5%	8%	4%	0%	2%	0%	6%	0%	4%	3%
	[2]④i	16%	22%	10%	32%	19%	11%	18%	9%	11%	0%	18%	18%
[2]④j	14%	10%	10%	16%	12%	22%	12%	18%	22%	0%	13%	12%	
学校内	[2]⑤a	30%	38%	31%	18%	25%	100%	19%	14%	21%		26%	26%
	[2]⑤b	52%	50%	62%	64%	40%	0%	37%	57%	71%		44%	42%
	[2]⑤c	35%	38%	23%	18%	45%	0%	55%	29%	21%		43%	43%
	[2]⑤d	3%	4%	0%	0%	8%	0%	15%	0%	7%		8%	8%
	[2]⑤o	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		0%	0%

- ・学校で読み書きの指導を受けたことがある「[2]②f:チック・トゥレット症」は「[2]⑤a:通常の学級」が100%である。
- ・学校で読み書きの指導を受けたことがある「[2]②c:ディスレクシア」と「[2]②d:協調運動障害」は「[2]⑤b通級」で受けた割合が高い。

	読み書きについて療育や指導を受けたことがあるか
[2]④a	ある
[2]④k	ない
[2]④o	未回答

	読み書きについて療育や指導を受けた場所	現在の診断・判定・教育的判断
[2]④b	学校	[2]②a LD
[2]④c	児童発達支援センター	[2]②b AD/HD
[2]④d	療育センター	[2]②c ディスレクシア
[2]④e	医療機関併設の療育機関	[2]②d 協調性運動障害
[2]④f	大学等研究機関	[2]②e 自閉症スペクトラム
[2]④g	児童発達支援事業所	[2]②f チック・トゥレット症
[2]④h	放課後等デーサーブ事業所	[2]②g 知的障害
[2]④i	学習塾	[2]②h その他
[2]④j	その他	[2]②i 診断・判定・教育的判断なし
		[2]②o 未回答

	学校で指導を受けた場合、どこで読み書きの指導を受けたか
[2]⑤a	通常の学級
[2]⑤b	通級
[2]⑤c	支援学級
[2]⑤d	支援学校
[2]⑤o	未回答

表2-1-6-5-1 「初診の時期」と「読み書きについての療育や指導の状況」

		初診の時期								計
		[2]③a	[2]③b	[2]③c	[2]③d	[2]③e	[2]③f	[2]③g	[2]③0	
有無	[2]④a	85	185	115	57	18	9	14	16	499
	[2]④k	39	112	118	67	74	37	77	30	554
	[2]④0	2	2	1	5	0	0	0	6	16
	計	126	299	234	129	92	46	91	52	1069
療育・指導場所	[2]④b	43	122	74	28	8	7	9	10	301
	[2]④c	8	23	8	4	2	0	1	1	47
	[2]④d	25	30	12	4	3	0	2	4	80
	[2]④e	24	33	10	12	0	1	1	2	83
	[2]④f	10	19	16	7	0	1	1	2	56
	[2]④g	4	3	6	0	1	0	0	0	14
	[2]④h	5	7	3	0	1	0	0	0	16
	[2]④i	17	40	21	7	3	0	0	1	89
	[2]④j	11	24	10	7	2	3	1	3	61
		計	147	301	160	69	20	12	15	23
学校内	[2]⑤a	9	29	22	8	1	3	5	1	78
	[2]⑤b	17	40	38	16	3	4	2	7	127
	[2]⑤c	26	65	23	9	4	0	1	1	129
	[2]⑤d	7	10	2	2	1	0	1	1	24
	[2]⑤0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

読み書きについて療育や指導を受けたことがあるか	
[2]④a	ある
[2]④k	ない
[2]④0	未回答

読み書きについて療育や指導を受けた場所		子どもが一番初めに診断された時期	
[2]④b	学校	[2]③a	3才以下
[2]④c	児童発達支援センター	[2]③b	3才から小学校就学前
[2]④d	療育センター	[2]③c	小学1年～3年
[2]④e	医療機関併設の療育機関	[2]③d	小学4年～6年
[2]④f	大学等研究機関	[2]③e	中学生
[2]④g	児童発達支援事業所	[2]③f	高校生
[2]④h	放課後等デイサービス事業所	[2]③g	高校卒業後
[2]④i	学習塾	[2]③0	未回答
[2]④j	その他		

学校で指導を受けた場合、どこで読み書きの指導を受けたか	
[2]⑤a	通常の学級
[2]⑤b	通級
[2]⑤c	支援学級
[2]⑤d	支援学校
[2]⑤0	未回答

表2-1-6-5-2 「初診の時期」基準の「読み書きについての療育や指導の状況」比率

		初診の時期								計
		[2]③a	[2]③b	[2]③c	[2]③d	[2]③e	[2]③f	[2]③g	[2]③0	
有無	[2]④a	67%	62%	49%	44%	20%	20%	15%	31%	47%
	[2]④k	31%	37%	50%	52%	80%	80%	85%	58%	52%
	[2]④0	2%	1%	0%	4%	0%	0%	0%	12%	1%
療育・指導場所	[2]④b	51%	66%	64%	49%	44%	78%	64%	63%	60%
	[2]④c	9%	12%	7%	7%	11%	0%	7%	6%	9%
	[2]④d	29%	16%	10%	7%	17%	0%	14%	25%	16%
	[2]④e	28%	18%	9%	21%	0%	11%	7%	13%	17%
	[2]④f	12%	10%	14%	12%	0%	11%	7%	13%	11%
	[2]④g	5%	2%	5%	0%	6%	0%	0%	0%	3%
	[2]④h	6%	4%	3%	0%	6%	0%	0%	0%	3%
	[2]④i	20%	22%	18%	12%	17%	0%	0%	6%	18%
[2]④j	13%	13%	9%	12%	11%	33%	7%	19%	12%	
学校内	[2]⑤a	21%	24%	30%	29%	13%	43%	56%	10%	26%
	[2]⑤b	40%	33%	51%	57%	38%	57%	22%	70%	42%
	[2]⑤c	60%	53%	31%	32%	50%	0%	11%	10%	43%
	[2]⑤d	16%	8%	3%	7%	13%	0%	11%	10%	8%
	[2]⑤0	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

- ・「診断・判定」を受けた時期が早いほど、読み書きについての療育・指導につながっている。
- ・中学校以降に「診断・判定」を受けた場合([2]③e～[2]③g)は、読み書きについての指導を受けていない([2]④k)割合が高い。

読み書きについて療育や指導を受けたことがあるか

[2]④a	ある
[2]④k	ない
[2]④0	未回答

読み書きについて療育や指導を受けた場所

[2]④b	学校
[2]④c	児童発達支援センター
[2]④d	療育センター
[2]④e	医療機関併設の療育機関
[2]④f	大学等研究機関
[2]④g	児童発達支援事業所
[2]④h	放課後等デイサービス事業所
[2]④i	学習塾
[2]④j	その他

子どもが一番初めに診断された時期

[2]③a	3才以下
[2]③b	3才から小学校就学前
[2]③c	小学1年～3年
[2]③d	小学4年～6年
[2]③e	中学生
[2]③f	高校生
[2]③g	高校卒業後
[2]③0	未回答

学校で指導を受けた場合、どこで読み書きの指導を受けたか

[2]⑤a	通常の学級
[2]⑤b	通級
[2]⑤c	支援学級
[2]⑤d	支援学校
[2]⑤0	未回答

## 7. 二次障害について

表2-1-7-1

読み書きの困難さについて学校や職場の理解がなく、 二次障害を起こしたことがあるか	数	比率
[2]⑥a ある	311	29%
[2]⑥j ない	683	64%
[2]⑥0 未回答	75	7%
計	1069	100%

・全体の29%が読み書きの困難さについて学校や職場の理解が無く二次障害を起こしたことがある。

表2-1-7-2

二次障害の内容	数	比率
[2]⑥b 不登校	121	39%
[2]⑥c 精神的不安定	183	59%
[2]⑥d うつ状態	60	19%
[2]⑥e 暴力・暴言	90	29%
[2]⑥f 無気力	74	24%
[2]⑥g 引きこもり状態	45	14%
[2]⑥h 働く気がない	22	7%
[2]⑥i その他	39	13%
計	634	204%

・二次障害の内容は「精神的不安定」が一番多い。

表2-1-7-3-1 「初診の時期」と「二次障害の状況」

		初診の時期								計
		[2]③a	[2]③b	[2]③c	[2]③d	[2]③e	[2]③f	[2]③g	[2]③0	
有無	[2]⑥a	28	76	77	52	34	10	22	12	311
	[2]⑥j	92	207	142	69	50	32	61	30	683
	[2]⑥0	6	16	15	8	8	4	8	10	75
	計	126	299	234	129	92	46	91	52	1069
二次障害の内容	[2]⑥b	13	17	25	27	24	6	6	3	121
	[2]⑥c	18	51	41	23	23	4	16	7	183
	[2]⑥d	7	11	9	9	6	6	9	3	60
	[2]⑥e	9	31	20	10	10	2	7	1	90
	[2]⑥f	8	13	17	13	12	4	5	2	74
	[2]⑥g	6	4	10	8	6	3	7	1	45
	[2]⑥h	3	4	5	3	1	0	5	1	22
	[2]⑥i	3	9	11	7	4	1	2	2	39
	計	67	140	138	100	86	26	57	20	634

	子どもが一番初めに診断された時期
[2]③a	3才以下
[2]③b	3才から小学校就学前
[2]③c	小学1年～3年
[2]③d	小学4年～6年
[2]③e	中学生
[2]③f	高校生
[2]③g	高校卒業後
[2]③0	未回答

表2-1-7-3-2 「初診の時期」基準の「二次障害の状況」比率

	初診の時期								計	
	[2]③a	[2]③b	[2]③c	[2]③d	[2]③e	[2]③f	[2]③g	[2]③0		
有無	[2]⑥a	22%	25%	33%	40%	37%	22%	24%	23%	29%
	[2]⑥j	73%	69%	61%	53%	54%	70%	67%	58%	64%
	[2]⑥0	5%	5%	6%	6%	9%	9%	9%	19%	7%
二次障害の内容	[2]⑥b	46%	22%	32%	52%	71%	60%	27%	25%	39%
	[2]⑥c	64%	67%	53%	44%	68%	40%	73%	58%	59%
	[2]⑥d	25%	14%	12%	17%	18%	60%	41%	25%	19%
	[2]⑥e	32%	41%	26%	19%	29%	20%	32%	8%	29%
	[2]⑥f	29%	17%	22%	25%	35%	40%	23%	17%	24%
	[2]⑥g	21%	5%	13%	15%	18%	30%	32%	8%	14%
	[2]⑥h	11%	5%	6%	6%	3%	0%	23%	8%	7%
	[2]⑥i	11%	12%	14%	13%	12%	10%	9%	17%	13%

- ・初診時期が小学校高学年～高校生の場合（[2]③d～[2]③f）は、「不登校」の割合が高い。  
逆に不登校になったからその時期に初診となったのかもしれない。

読み書きの困難さについて学校や職場の理解がなく、二次障害を起こしたことがあるか

[2]⑥a	ある
[2]⑥j	ない
[2]⑥0	未回答

二次障害の内容	子どもが一番初めに診断された時期
[2]⑥b 不登校	[2]③a 3才以下
[2]⑥c 精神的不安定	[2]③b 3才から小学校就学前
[2]⑥d うつ状態	[2]③c 小学1年～3年
[2]⑥e 暴力・暴言	[2]③d 小学4年～6年
[2]⑥f 無気力	[2]③e 中学生
[2]⑥g 引きこもり状態	[2]③f 高校生
[2]⑥h 働く気がない	[2]③g 高校卒業後
[2]⑥i その他	[2]③0 未回答

## 8. 障害者手帳の取得状況

障害者手帳、判定書を所持しているか	
[2]⑦a	療育手帳(愛の手帳)
[2]⑦b	身体障害者手帳
[2]⑦c	精神障害者保健福祉手帳
[2]⑦d	障害者職業センターの判定
[2]⑦e	所持していない
[2]⑦0	未回答

表2-1-8-1 「子どもの年代」と「障害者手帳の取得状況」

		障害者手帳の取得状況						計	実数
		[2]⑦a	[2]⑦b	[2]⑦c	[2]⑦d	[2]⑦e	[2]⑦0		
子どもの年代	[2]①a	42	0	40	0	54	0	136	133
	[2]①b	25	8	242	13	178	9	701	647
	[2]①c	122	7	87	11	32	3	262	240
	[2]①d	20	2	15	0	4	0	41	37
	[2]①e	1	0	0	1	2	0	4	3
	[2]①W	2	0	3	0	0	0	5	4
	[2]①0	3	0	1	0	1	0	5	5
計		441	17	388	25	271	12	1154	1069

表2-1-8-2 「子どもの年代」基準の「障害者手帳の取得状況」比率

		障害者手帳の取得状況						計	子どもの年代
		[2]⑦a	[2]⑦b	[2]⑦c	[2]⑦d	[2]⑦e	[2]⑦0		
子どもの年代	[2]①a	32%	0%	30%	0%	41%	0%	102%	18・19才
	[2]①b	39%	1%	37%	2%	28%	1%	108%	20才代
	[2]①c	51%	3%	36%	5%	13%	1%	109%	30才代
	[2]①d	54%	5%	41%	0%	11%	0%	111%	40才代
	[2]①e	33%	0%	0%	33%	67%	0%	133%	50才代
	[2]①W	50%	0%	75%	0%	0%	0%	125%	複数回答
	[2]①0	60%	0%	20%	0%	20%	0%	100%	未回答
計		41%	2%	36%	2%	25%	1%	108%	

・手帳を「[2]⑦e:所持していない」のは、「[2]①a:18・19才」「[2]①b:20才代」に多い。

## 9. 障害者基礎年金の受給状況

障害者基礎年金の受給状況	
[2]⑧a	支給を受けている
[2]⑧b	支給を受けていたが、支給を停止された
[2]⑧c	支給を申請したが、不可だった
[2]⑧d	申請中
[2]⑧e	申請していない
[2]⑧W	複数回答
[2]⑧0	未回答

表2-1-9-1 「子どもの年代」と「障害者基礎年金の需給状況」

		障害者基礎年金の受給状況						計	
		[2]⑧a	[2]⑧b	[2]⑧c	[2]⑧d	[2]⑧e	[2]⑧W		[2]⑧0
子どもの年代	[2]①b	316	2	20	18	284	1	6	647
	[2]①c	160	1	13	2	56	0	8	240
	[2]①d	29	1	0	0	6	0	1	37
	[2]①e	1	0	0	0	2	0	0	3
	[2]①W	1	0	0	0	1	2	0	4
	[2]①0	2	0	0	1	0	0	2	5
計		509	4	33	21	349	3	17	936

表2-1-9-2 「子どもの年代」基準の「障害者基礎年金の需給状況」比率

		障害者基礎年金の受給状況							子どもの年代
		[2]⑧a	[2]⑧b	[2]⑧c	[2]⑧d	[2]⑧e	[2]⑧W	[2]⑧0	
子どもの年代	[2]①b	49%	0%	3%	3%	44%	0%	1%	[2]①b 20才代
	[2]①c	67%	0%	5%	1%	23%	0%	3%	[2]①c 30才代
	[2]①d	78%	3%	0%	0%	16%	0%	3%	[2]①d 40才代
	[2]①e	33%	0%	0%	0%	67%	0%	0%	[2]①e 50才代
	[2]①W	25%	0%	0%	0%	25%	50%	0%	[2]①W 複数回答
	[2]①0	40%	0%	0%	20%	0%	0%	40%	[2]①0 未回答
計		54%	0%	4%	2%	37%	0%	2%	

・「[2]⑧e:申請していない」のは、「[2]①b:20才代」に多い。

## 10. 現在の状況

	現在の状況
[2]①a	学校在学中
[2]①b	一般就労(20時間/週以上勤務)
[2]①c	障害者雇用(20時間/週以上勤務)
[2]①d	パート・アルバイト(20時間/週未満の勤務)
[2]①e	就労移行支援事業所
[2]①f	A型就労継続支援事業所
[2]①g	B型就労継続支援事業所、授産所、作業所に通所
[2]①h	職業訓練(訓練校・委託訓練・職場実習等)
[2]①i	無職
[2]①W	複数回答
[2]①0	未回答

表2-1-10-1 「子どもの年代」と「現在の状況」

	現在の状況											計	
	[2]①a	[2]①b	[2]①c	[2]①d	[2]①e	[2]①f	[2]①g	[2]①h	[2]①i	[2]①W	[2]①0		
子どもの年代	[2]①a	75	4	14	2	17	1	5	4	7	3	1	133
	[2]①b	103	123	195	21	39	23	58	8	62	9	6	647
	[2]①c	0	49	112	13	7	6	27	0	20	2	4	240
	[2]①d	0	4	13	2	1	0	6	0	9	2	0	37
	[2]①e	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
	[2]①W	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	4
	[2]①0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	5
計	179	180	338	38	66	30	96	14	99	18	11	1069	

表2-1-10-2 「子どもの年代」基準の「現在の状況」比率

	現在の状況											
	[2]①a	[2]①b	[2]①c	[2]①d	[2]①e	[2]①f	[2]①g	[2]①h	[2]①i	[2]①W	[2]①0	
子どもの年代	[2]①a	<b>56%</b>	3%	11%	2%	13%	1%	4%	3%	5%	2%	1%
	[2]①b	16%	19%	<b>30%</b>	3%	6%	4%	9%	1%	10%	1%	1%
	[2]①c	0%	20%	<b>47%</b>	5%	3%	3%	11%	0%	8%	1%	2%
	[2]①d	0%	11%	35%	5%	3%	0%	16%	0%	24%	5%	0%
	[2]①e	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	33%	33%	0%	0%
	[2]①W	0%	0%	0%	0%	25%	0%	0%	25%	0%	<b>50%</b>	0%
	[2]①0	20%	0%	<b>60%</b>	0%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
計	17%	17%	32%	4%	6%	3%	9%	1%	9%	2%	1%	

・「[2]①c:障害者雇用」で働いている人が一番多い。

	子どもの年代
[2]①a	18・19才
[2]①b	20才代
[2]①c	30才代
[2]①d	40才代
[2]①e	50才代
[2]①W	複数回答
[2]①0	未回答

# 第2章 成育歴から見える困難さ

## 1. 幼少期の困難さ

表2-2-1-1

幼少期の困難さ	数	比率
[3]①a 言葉が遅かった	699	65%
[3]①b 指さしをするのが遅かった	305	29%
[3]①c あちこち走り回っていた	497	46%
[3]①d 遊び友達を叩いたり、噛みついたりした	183	17%
[3]①e 食卓のコップ等を良く倒した	113	11%
[3]①f 友だちとごっこ遊びをしなかった	602	56%
[3]①g しりとりや言葉遊びが苦手だった	315	29%
[3]①h 絵本などに興味を示さなかった	168	16%
[3]①i 文字に興味を示さなかった	188	18%
[3]①j お絵描きに興味を示さなかった	272	25%
[3]①k 公園の遊具で遊ぶのが嫌だった	126	12%
[3]①l 自分で服を着れるようになるのが遅かった	259	24%
[3]①m 自分の右・左がわかりにくかった	301	28%
[3]①n 約束やルールを守って遊ばなかった	356	33%
[3]①o 集団行動が苦手だった	749	70%
[3]①p 偏食が強かった	317	30%
[3]①q こたわりが強かった	611	57%
[3]①r 急に大声を出したりした	156	15%
[3]①s 特に無かった	30	3%
[3]①0 未回答	14	1%
計	6261	586%

表2-2-1-2-1 「診断・判定」と「幼少期の困難さ」

	診断・判定・教育的判断										計	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0		
幼少期の困難さ	[3]①a	125	113	15	26	546	6	206	21	21	0	1079
	[3]①b	38	38	2	15	278	1	84	4	4	0	464
	[3]①c	92	134	13	18	383	8	112	10	17	1	788
	[3]①d	37	55	3	8	148	1	38	3	3	0	296
	[3]①e	31	48	5	11	89	3	26	4	4	0	221
	[3]①f	80	86	10	26	508	9	163	12	12	1	907
	[3]①g	56	40	10	12	252	3	107	9	6	1	496
	[3]①h	36	30	2	6	131	2	60	4	1	0	272
	[3]①i	63	46	16	12	131	3	66	2	8	1	348
	[3]①j	53	54	10	15	208	1	86	4	9	1	441
	[3]①k	22	12	1	11	106	3	31	4	1	0	191
	[3]①l	66	50	6	22	197	4	89	9	5	0	448
	[3]①m	81	65	15	17	212	4	89	9	7	0	499
	[3]①n	73	85	10	20	281	3	94	9	7	1	583
	[3]①o	130	140	17	32	609	12	166	22	26	2	1156
[3]①p	55	66	12	8	274	5	66	6	6	0	498	
[3]①q	90	86	13	17	523	12	139	14	17	0	911	
[3]①r	18	30	3	7	131	6	37	3	4	0	239	
[3]①s	2	5	0	0	17	4	5	0	0	0	33	
[3]①0	3	0	0	0	9	1	3	0	2	0	18	
計	1151	1183	163	283	5033	91	1667	149	160	8	9888	
実数	196	193	28	41	805	25	259	31	37	2	1617	

表2-2-1-2-2 「診断・判定」基準の「幼少期の困難さ」比率

	診断・判定・教育的判断										計	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②o		
幼少期の困難さ	[3]①a	64%	59%	54%	63%	68%	24%	80%	68%	57%	0%	67%
	[3]①b	19%	20%	7%	37%	35%	4%	32%	13%	11%	0%	29%
	[3]①c	47%	69%	46%	44%	48%	32%	43%	32%	46%	50%	49%
	[3]①d	19%	28%	11%	20%	18%	4%	15%	10%	8%	0%	18%
	[3]①e	16%	25%	18%	27%	11%	12%	10%	13%	11%	0%	14%
	[3]①f	41%	45%	36%	63%	63%	36%	63%	39%	32%	50%	56%
	[3]①g	29%	21%	36%	29%	31%	12%	41%	29%	16%	50%	31%
	[3]①h	18%	16%	7%	15%	16%	8%	23%	13%	3%	0%	17%
	[3]①i	32%	24%	57%	29%	16%	12%	25%	6%	22%	50%	22%
	[3]①j	27%	28%	36%	37%	26%	4%	33%	13%	24%	50%	27%
	[3]①k	11%	6%	4%	27%	13%	12%	12%	13%	3%	0%	12%
	[3]①l	34%	26%	21%	54%	24%	16%	34%	29%	14%	0%	28%
	[3]①m	41%	34%	54%	41%	26%	16%	34%	29%	19%	0%	31%
	[3]①n	37%	44%	36%	49%	35%	12%	36%	29%	19%	50%	36%
	[3]①o	66%	73%	61%	78%	76%	48%	64%	71%	70%	100%	71%
	[3]①p	28%	34%	43%	20%	34%	20%	25%	19%	16%	0%	31%
	[3]①q	46%	45%	46%	41%	65%	48%	54%	45%	46%	0%	56%
	[3]①r	9%	16%	11%	17%	16%	24%	14%	10%	11%	0%	15%
[3]①s	1%	3%	0%	0%	2%	16%	2%	0%	0%	0%	2%	
[3]①o	2%	0%	0%	0%	1%	4%	1%	0%	5%	0%	1%	
計	587%	613%	582%	690%	625%	364%	644%	481%	432%	400%	612%	

・「[2]②f:チック・トゥレット症」以外の「診断・判定」すべてで、幼少期「[3]①a:言葉が遅かった」「[3]①o:集団行動が苦手だった」が多い。

	現在の診断・判定・教育的判断
[2]②a	LD
[2]②b	AD/HD
[2]②c	ディスレクシア
[2]②d	協調性運動障害
[2]②e	自閉症スペクトラム
[2]②f	チック・トゥレット症
[2]②g	知的障害
[2]②h	その他
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし
[2]②o	未回答

## 2. 学齢期の困難さ

表2-2-2-1

学齢期の困難さ	数	比率
[3]②a ノートを取らない	331	31%
[3]②b 書字に時間がかかる	489	46%
[3]②c 板書を写さない	317	30%
[3]②d 書くことを嫌がる	287	27%
[3]②e 夏休みの日記が書けない	374	35%
[3]②f 作文が嫌い	586	55%
[3]②g 漢字学習を嫌がる	266	25%
[3]②h 宿題をしようとしな	284	27%
[3]②i 読みに時間がかかる	236	22%
[3]②j 聞き間違いが多かった	239	22%
[3]②k 読み間違いが多かった	221	21%
[3]②l スムースな音読が難しい	295	28%
[3]②m 習った漢字が読めない	118	11%
[3]②n 文字が汚い	473	44%
[3]②o 周囲が気になって授業に集中できない	292	27%
[3]②p 落ち着きがない・多動・多弁	332	31%
[3]②q 勝手に声が出てしまう	127	12%
[3]②r 身体が勝手に動いてしまい授業に集中できない	118	11%
[3]②s 片付けができない	484	45%
[3]②t 字がマス目に収まらない	256	24%
[3]②u 筆圧が強すぎる	166	16%
[3]②v 筆圧が弱い	211	20%
[3]②w 体の動きがぎこちない	398	37%
[3]②x 姿勢を保持できない	273	26%
[3]②y 不器用	629	59%
[3]②z 算数の文章題が苦手	555	52%
[3]②A 距離感がつかみにくく人や物によくぶつかる	178	17%
[3]②B 持ち物をよく失くす	362	34%
[3]②D 筆箱など机の上に置いてある物をよく落とす	175	16%
[3]②E 動作が乱暴	129	12%
[3]②F 用具や道具をすぐに壊す	171	16%
[3]②G 特に無かった	24	2%
[3]②0 未回答	15	1%
計	9411	880%

表2-2-2-1 「診断・判定」と「学齢期の困難さ」

	診断・判定・教育的判断										計	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0		
学 齢 期 の 困 難 さ	[3]②a	85	103	20	18	246	7	84	6	10	0	579
	[3]②b	138	114	25	29	359	12	129	11	22	1	840
	[3]②c	93	96	20	21	227	7	80	6	9	0	559
	[3]②d	97	84	22	18	205	8	54	3	11	0	502
	[3]②e	97	86	18	20	278	7	100	9	11	1	627
	[3]②f	134	116	24	25	445	9	147	11	20	1	932
	[3]②g	93	89	22	17	186	7	56	5	13	0	488
	[3]②h	80	105	15	20	201	8	66	8	12	0	515
	[3]②i	80	46	19	12	155	5	97	5	8	0	427
	[3]②j	72	57	13	12	175	5	69	5	6	2	416
	[3]②k	79	60	20	15	144	5	71	5	13	0	412
	[3]②l	82	47	19	14	201	4	108	8	16	0	499
	[3]②m	51	32	13	7	68	3	46	2	5	0	227
	[3]②n	127	127	24	34	339	11	94	9	23	1	789
	[3]②o	68	82	12	15	225	5	67	5	8	0	487
	[3]②p	67	112	12	16	252	4	77	8	12	1	561
	[3]②q	22	28	4	9	99	11	27	3	4	0	207
	[3]②r	22	45	3	8	87	7	27	3	1	0	203
	[3]②s	111	132	16	26	360	8	96	16	15	2	782
	[3]②t	89	78	20	27	170	4	62	7	9	0	466
	[3]②u	34	38	7	13	135	4	46	3	1	0	281
	[3]②v	58	52	13	15	160	4	44	7	5	1	359
	[3]②w	89	77	14	30	335	5	90	14	6	0	660
	[3]②x	62	83	10	21	215	5	65	6	5	0	472
	[3]②y	132	110	14	34	486	9	167	18	17	1	988
	[3]②z	121	96	17	26	409	7	192	17	14	1	900
	[3]②A	40	49	9	22	138	4	43	10	6	0	321
[3]②B	94	121	17	23	260	8	71	15	16	1	626	
[3]②D	46	66	9	14	130	5	28	10	6	0	314	
[3]②E	28	52	2	5	88	8	24	2	5	0	214	
[3]②F	38	61	5	10	124	12	37	3	7	0	297	
[3]②G	0	2	1	0	20	1	1	0	0	0	25	
[3]②0	2	0	0	0	12	0	5	0	1	0	20	
計	2431	2446	459	576	6934	209	2370	240	317	13	15995	
実数	196	193	28	41	805	25	259	31	37	2	1617	

	現在の診断・判定・教育的判断
[2]②a	LD
[2]②b	AD/HD
[2]②c	ディスレクシア
[2]②d	協調性運動障害
[2]②e	自閉症スペクトラム
[2]②f	チック・トゥレット症
[2]②g	知的障害
[2]②h	その他
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし
[2]②0	未回答

表2-2-2-2 「診断・判定」基準の「学齢期の困難さ」比率

		診断・判定・教育的判断										計
		[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②o	
学 齢 期 の 困 難 さ	[3]②a	43%	53%	71%	44%	31%	28%	32%	19%	27%	0%	36%
	[3]②b	70%	59%	89%	71%	45%	48%	50%	35%	59%	50%	52%
	[3]②c	47%	50%	71%	51%	28%	28%	31%	19%	24%	0%	35%
	[3]②d	49%	44%	79%	44%	25%	32%	21%	10%	30%	0%	31%
	[3]②e	49%	45%	64%	49%	35%	28%	39%	29%	30%	50%	39%
	[3]②f	68%	60%	86%	61%	55%	36%	57%	35%	54%	50%	58%
	[3]②g	47%	46%	79%	41%	23%	28%	22%	16%	35%	0%	30%
	[3]②h	41%	54%	54%	49%	25%	32%	25%	26%	32%	0%	32%
	[3]②i	41%	24%	68%	29%	19%	20%	37%	16%	22%	0%	26%
	[3]②j	37%	30%	46%	29%	22%	20%	27%	16%	16%	100%	26%
	[3]②k	40%	31%	71%	37%	18%	20%	27%	16%	35%	0%	25%
	[3]②l	42%	24%	68%	34%	25%	16%	42%	26%	43%	0%	31%
	[3]②m	26%	17%	46%	17%	8%	12%	18%	6%	14%	0%	14%
	[3]②n	65%	66%	86%	83%	42%	44%	36%	29%	62%	50%	49%
	[3]②o	35%	42%	43%	37%	28%	20%	26%	16%	22%	0%	30%
	[3]②p	34%	58%	43%	39%	31%	16%	30%	26%	32%	50%	35%
	[3]②q	11%	15%	14%	22%	12%	44%	10%	10%	11%	0%	13%
	[3]②r	11%	23%	11%	20%	11%	28%	10%	10%	3%	0%	13%
	[3]②s	57%	68%	57%	63%	45%	32%	37%	52%	41%	100%	48%
	[3]②t	45%	40%	71%	66%	21%	16%	24%	23%	24%	0%	29%
	[3]②u	17%	20%	25%	32%	17%	16%	18%	10%	3%	0%	17%
	[3]②v	30%	27%	46%	37%	20%	16%	17%	23%	14%	50%	22%
	[3]②w	45%	40%	50%	73%	42%	20%	35%	45%	16%	0%	41%
	[3]②x	32%	43%	36%	51%	27%	20%	25%	19%	14%	0%	29%
	[3]②y	67%	57%	50%	83%	60%	36%	64%	58%	46%	50%	61%
	[3]②z	62%	50%	61%	63%	51%	28%	74%	55%	38%	50%	56%
	[3]②A	20%	25%	32%	54%	17%	16%	17%	32%	16%	0%	20%
	[3]②B	48%	63%	61%	56%	32%	32%	27%	48%	43%	50%	39%
[3]②D	23%	34%	32%	34%	16%	20%	11%	32%	16%	0%	19%	
[3]②E	14%	27%	7%	12%	11%	32%	9%	6%	14%	0%	13%	
[3]②F	19%	32%	18%	24%	15%	48%	14%	10%	19%	0%	18%	
[3]②G	0%	1%	4%	0%	2%	4%	0%	0%	0%	0%	2%	
[3]②O	1%	0%	0%	0%	1%	0%	2%	0%	3%	0%	1%	
計		1240%	1267%	1639%	1405%	861%	836%	915%	774%	857%	650%	989%

- すべての「診断・判定」で、学齢期「[3]②b:書字に時間がかかる」が多い。
- 「[2]②f:チック・トゥレット症」以外の「診断・判定」すべてで、学齢期「[3]②f:作文が嫌い」「[3]②y:不器用」「[3]②z:算数の文章題が苦手」が多い。
- 「[2]②g:知的障害」以外の「診断・判定」すべてで、学齢期「[3]②n:文字が汚い」が多い。

現在の診断・判定・教育的判断	
[2]②a	LD
[2]②b	AD/HD
[2]②c	ディスレクシア
[2]②d	協調性運動障害
[2]②e	自閉症スペクトラム
[2]②f	チック・トゥレット症
[2]②g	知的障害
[2]②h	その他
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし
[2]②o	未回答

# 第3章 現在の読み書き困難の状況

## 1. 生活における困難さ

表2-3-1-1

文字や文書について、現在の生活での困難さ	数	比率
[3]③a 郵便物の内容の細かい把握ができない	394	37%
[3]③b 文字や文書の手書きが難しい	222	21%
[3]③c 本人だけでは手帳の更新など役所等への書類が作成できない	604	57%
[3]③d 電車やバスの行き先などが読めない	47	4%
[3]③e 街中の看板や案内掲示がわからない	51	5%
[3]③f 長い文書だと重要な箇所を見落としてしまう	459	43%
[3]③g 長い文書だと途中から読まなくなってしまう	267	25%
[3]③h 読書などが楽しめない	324	30%
[3]③i 書くことが苦手なので考えをまとめることも苦手	402	38%
[3]③j 契約書の内容などが理解できない	529	49%
[3]③k 設問などの文章の意図の把握が困難	482	45%
[3]③l その他	65	6%
[3]③0 未回答	155	14%
計	4001	374%

・「本人だけでは手帳の更新など役所等への書類が作成できない」が一番多い。

### ◎ [3]③l 「その他」について

#### <書くことの課題>

- ・メモをとれない。漢字が書けない。
- ・テキストや板書を見ながらの書字が難しい。
- ・字が小学校低学年ぐらいの幼い感じの字を書く。
- ・字を整えて書いたり、枠内に収まる字を書いたりすることが難しい。
- ・書く文字が小さい。・字が幼稚。・書字が雑。
- ・口頭ではすらすら言えることを「紙に書いて」と言うと書けない。
- ・文を書く時に構音障害の特質が出てしまう。
- ・漢字表記が苦手なのでひらがな書きになる。
- ・チック症の為、文字を書くのに時間がかかる。キレイに書けない等。

#### <読むことの課題>

- ・読み違いが多い。
- ・カタカナの固有名詞の読み違いがある。ソとシ、ツとシ、ヌとス、数字の見まちがえがある。

#### <理解力・表現力の課題>

- ・理解はしているが、表現力がない。
- ・言葉の使い方、意味がわかっていない場合がある。
- ・内容を勝手に思いこむところがある。
- ・要求されている意図を把握できない等、レポート作成が難しい。
- ・深読みはできない。

#### <集中力等の課題>

- ・関心のない物に対して理解しようとする意欲が持てず、忘れてたり、後回しにしてしまう。

#### <手続等の困難>

- ・年末調整の書類の作成は手助けを要する。
- ・退職後の雇用保険の手続き。国民年金、国民健康保険の手続き等がむずかしく手伝った。
- ・契約はできるが解約の手続きができない。
- ・病院で問診表に記入できない。(名前、生年月日以外は書けない)

#### <その他>

- ・尖った物を見ると刺したくなる衝動があり、鉛筆やペンを持つのに困難がある。

表2-3-1-2-1 「診断・判定」と「文字や文書について、現在の生活での困難さ」

	診断・判定・教育的判断										計	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0		
現在の生活での困難さ	[3]③a	81	70	14	16	305	5	158	12	7	1	669
	[3]③b	72	59	19	15	153	7	65	10	5	0	405
	[3]③c	119	98	19	26	471	8	223	18	7	1	990
	[3]③d	12	11	3	0	34	1	21	1	0	0	83
	[3]③e	11	9	2	1	39	2	28	2	1	0	95
	[3]③f	89	87	19	22	350	9	159	12	14	1	762
	[3]③g	59	61	13	11	199	6	103	7	6	0	465
	[3]③h	58	49	5	9	242	6	132	11	9	0	521
	[3]③i	102	80	16	20	306	5	143	8	11	0	691
	[3]③j	95	77	15	16	402	8	208	15	14	1	851
	[3]③k	99	68	17	21	371	5	181	11	10	1	784
	[3]③l	14	15	4	5	52	3	6	4	2	0	105
	[3]③0	15	27	0	1	121	6	8	5	9	1	193
計	826	711	146	163	3045	71	1435	116	95	6	6614	
実数	196	193	28	41	805	25	259	31	37	2	1617	

表2-3-1-2-2 「診断・判定」基準の「文字や文書について、現在の生活での困難さ」比率

	診断・判定・教育的判断										計	
	[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0		
現在の生活での困難さ	[3]③a	41%	36%	50%	39%	38%	20%	61%	39%	19%	50%	41%
	[3]③b	37%	31%	68%	37%	19%	28%	25%	32%	14%	0%	25%
	[3]③c	61%	51%	68%	63%	59%	32%	86%	58%	19%	50%	61%
	[3]③d	6%	6%	11%	0%	4%	4%	8%	3%	0%	0%	5%
	[3]③e	6%	5%	7%	2%	5%	8%	11%	6%	3%	0%	6%
	[3]③f	45%	45%	68%	54%	43%	36%	61%	39%	38%	50%	47%
	[3]③g	30%	32%	46%	27%	25%	24%	40%	23%	16%	0%	29%
	[3]③h	30%	25%	18%	22%	30%	24%	51%	35%	24%	0%	32%
	[3]③i	52%	41%	57%	49%	38%	20%	55%	26%	30%	0%	43%
	[3]③j	48%	40%	54%	39%	50%	32%	80%	48%	38%	50%	53%
	[3]③k	51%	35%	61%	51%	46%	20%	70%	35%	27%	50%	48%
	[3]③l	7%	8%	14%	12%	6%	12%	2%	13%	5%	0%	6%
	[3]③0	8%	14%	0%	2%	15%	24%	3%	16%	24%	50%	12%
計	421%	368%	521%	398%	378%	284%	554%	374%	257%	300%	409%	

・「[2]②c:ディスレクシア」は「[3]③b:文字や文書の手書きが難しい」「[3]③c:本人だけでは手帳の更新など役所への書類が作成できない」「[3]③f長い文書だと重要な箇所を見落としてしまう」「[3]③k:設問などの文章の意図の把握が困難」の割合が高い。

現在の診断・判定・教育的判断		文字や文書について、現在の生活での困難さ	
[2]②a	LD	[3]③a	郵便物の内容の細かい把握ができない
[2]②b	AD/HD	[3]③b	文字や文書の手書きが難しい
[2]②c	ディスレクシア	[3]③c	本人だけでは手帳の更新など 役所等への書類が作成できない
[2]②d	協調性運動障害	[3]③d	電車やバスの行き先などが読めない
[2]②e	自閉症スペクトラム	[3]③e	街中の看板や案内掲示がわからない
[2]②f	チック・トゥレット症	[3]③f	長い文書だと重要な箇所を見落としてしまう
[2]②g	知的障害	[3]③g	長い文書だと途中から読まなくなってしまう
[2]②h	その他	[3]③h	読書などが楽しめない
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし	[3]③i	書くことが苦手なので考えをまとめることも苦手
[2]②0	未回答	[3]③j	契約書の内容などが理解できない
		[3]③k	設問などの文章の意図の把握が困難
		[3]③l	その他
		[3]③0	未回答

## 2. 働くうえでの困難さ

表2-3-2-1

働くうえで、読み書きについての困難さ	数	比率
[3]④a 読み書きが苦手なので、職種が限られる	266	25%
[3]④b 仕事に必要なメモがとれない	282	26%
[3]④c 文書の内容把握のためには説明が必要	503	47%
[3]④d 文書の読み書きに時間が掛かる	305	29%
[3]④e 報告書などの書類が書けない	441	41%
[3]④f その他	102	10%
[3]④0 未回答	282	26%
計	2181	204%

・「文書の内容把握のためには説明が必要」が47%で一番多く、次いで「報告書等の書類が書けない」の41%となっている。

### ◎ [3]④f「その他」について

#### <書くことの課題>

- ・漢字が書けない。
- ・内容が複雑になると書けない。
- ・字が汚いので自分以外は読めない。
- ・自分しかわからない字を書き、その説明も下手。
- ・人が読める文字を書いていない。
- ・本人の書いた字を他人が読むのが難しい。きたない字の為、なれていないと、ひらがなでも何と書いたか判別できない。誤字脱字もあり、真剣に書いていないと思われる。
- ・サインすらしようとしない。
- ・誤字がある。
- ・書くのに時間がかかる。漢字が思い出せない。
- ・字を書く時に緊張する。
- ・特に自宅での書類記入が大変困る。

#### <メモを取る等、作業の課題>

- ・メモをスマホなどに入力しようしても時間がかかる。メモを渡されてもそのメモをなくしてしまう。又は終わった内容のメモを捨てないのでいつのメモかわからなくなる。
- ・電話でやり取りしながらメモをとれないので、電話を必要としない所に配属されている。
- ・話されたことを記憶しにくいのでメモがとれない。
- ・メモをとったとしても、それを失くしてしまう。
- ・電話の対応をして、メモをとり相手に伝えるのは難しい。
- ・仕事上のメモを取っても必要なときにどこに書いたか分からなくなり、メモを有効に活用できない。
- ・文字を書くのに、時間がかかり、メモをとれない。
- ・動作が遅いので、書類作成の仕事に時間がかかる。
- ・報告書は書くが、字が汚ない。又書くことをしぼる。
- ・書類作成はできるが字が汚ないので、全てPC入力している。
- ・パソコンの入力(漢字)間違いをすることがある。
- ・書くことが嫌いなので、手書きが必要な物は排除してしまう傾向がある。
- ・書く事の困難さはないが、吃音がひどく電話や対話での相手の柔軟な対応が必要。
- ・読み書きそのものは大丈夫だが、常に家族か支援者が側にいないと不安になる。場に慣れていないと1人でやっていくことが難しい。
- ・チックがある為、読字・書字に集中することが難しい。
- ・ケアレスミスが多い。読み書きは良いが、聞き取りが苦手。メモを取り努力している。
- ・持続力がない。
- ・履歴書を書くのに時間がかかる(2~3日)。こだわりが強く内容や書の形を考えすぎて進まない。

- ・資格試験の回答が書けない。または時間がかかる。
- <読むことの課題>
- ・横書きの文書はあまり苦勞しないで読めるが、縦書きの文章、文書などが読みづらい。指でなぞりながら読んでいる
- <理解力・表現力の課題>
- ・文の説明だけでなく、絵や写真なども必要。
  - ・自分で文章を考えることができない。
  - ・本人は「頭に書いている」と言っていた。
  - ・内容把握のために確認が必要。
  - ・文章を長々と書く傾向あり。簡潔にまとめられない。

表2-3-2-2-1 「診断・判定」と「働くうえで、読み書きについての困難さ」

		[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0	計
働くうえでの困難	[3]④a	76	61	16	13	195	5	110	9	5	0	490
	[3]④b	60	66	15	17	225	4	82	9	9	0	487
	[3]④c	90	72	14	18	387	6	184	14	15	1	801
	[3]④d	88	63	15	18	219	8	104	9	11	0	535
	[3]④e	88	81	16	19	342	6	160	12	9	1	734
	[3]④f	25	28	4	7	76	2	16	2	5	1	166
	[3]④0	39	50	4	6	213	11	31	10	13	0	377
計		466	421	84	98	1657	42	687	65	67	3	3590
実数		196	193	28	41	805	25	259	31	37	2	1617

表2-3-2-2-2 「診断・判定」基準の「働くうえで、読み書きについての困難さ」比率

		診断・判定・教育的判断										計
		[2]②a	[2]②b	[2]②c	[2]②d	[2]②e	[2]②f	[2]②g	[2]②h	[2]②i	[2]②0	
働くうえでの困難	[3]④a	39%	32%	57%	32%	24%	20%	42%	29%	14%	0%	30%
	[3]④b	31%	34%	54%	41%	28%	16%	32%	29%	24%	0%	30%
	[3]④c	46%	37%	50%	44%	48%	24%	71%	45%	41%	50%	50%
	[3]④d	45%	33%	54%	44%	27%	32%	40%	29%	30%	0%	33%
	[3]④e	45%	42%	57%	46%	42%	24%	62%	39%	24%	50%	45%
	[3]④f	13%	15%	14%	17%	9%	8%	6%	6%	14%	50%	10%
	[3]④0	20%	26%	14%	15%	26%	44%	12%	32%	35%	0%	23%
計		238%	218%	300%	239%	206%	168%	265%	210%	181%	150%	222%

- ・「[2]②c:ディスレクシア」は、「[3]④a読み書きが苦手なので、職種が限られる」「[3]④b:仕事に必要なメモがとれない」「[3]④c:文書の内容把握のためには説明が必要」「[3]④d:文書の読み書きに時間が掛かる」「[3]④e:報告書などの書類が書けない」すべてに同じ程度困っている。

	働くうえで、読み書きについての困難さ	現在の診断・判定・教育的判断
[3]④a	読み書きが苦手なので、職種が限られる	[2]②a LD
[3]④b	仕事に必要なメモがとれない	[2]②b AD/HD
[3]④c	文書の内容把握のためには説明が必要	[2]②c ディスレクシア
[3]④d	文書の読み書きに時間が掛かる	[2]②d 協調性運動障害
[3]④e	報告書などの書類が書けない	[2]②e 自閉症スペクトラム
[3]④f	その他	[2]②f チック・トゥレット症
[3]④0	未回答	[2]②g 知的障害
		[2]②h その他
		[2]②i 診断・判定・教育的判断なし
		[2]②0 未回答

### 3. 家族のサポート状況

表2-3-3

文書の内容の把握について、ご家族等がしているサポート	数	比率
[4]①a 文書の代読	133	12%
[4]①b 文書の代筆	177	17%
[4]①c 文書の内容の説明・確認	574	54%
[4]①d 提出期限など文書の管理	453	42%
[4]①e IT 機器などの使い方の説明	109	10%
[4]①f 全くサポートしていない	289	27%
[4]①0 未回答	68	6%
計	1803	169%

・「文書の内容の説明・確認」が54%と一番多く、次に「提出期限など文書の管理」が42%と多い。

### 4. 身につけている工夫や機器などの利用

表2-3-4

文章の読み書きの苦手さを補う手段として本人が身につけている方法	数	比率
[4]②a パソコン・スマホなどの利用	491	46%
[4]②b 読み上げソフトの利用	6	1%
[4]②c 音声入力ソフトの利用	13	1%
[4]②d 紙の書類にパソコンで入力できるソフトの利用	18	2%
[4]②e 内容の説明や代読・代筆など周囲に支援を求める	275	26%
[4]②f 特にない	351	33%
[4]②g その他	45	4%
[4]②0 未回答	77	7%
計	1276	119%

・「パソコン・スマホなどの利用」が46%と一番多い。  
 ・一方で、PCの読み書き支援ソフト等の利用は各1%と低い。

#### ◎ [4]②g「その他」について

##### <書くことの課題>

- ・板書ができないので、写真を撮らせてもらっている。
- ・用紙を拡大する、情報、板書を写真でとる。
- ・書類作成の前に、鉛筆で下書きし、本人が上からボールペンでなぞる。
- ・テスト時の時間延長や、マークシートの場合はチェック回答への変更を依頼する。

##### <読むことの課題>

- ・親が読んで、本人が理解できるように説明、代筆、管理、提出をしている。
- ・文書を読む時、定規やリーディングトラックの利用(道具が無い時は指で字を追う)。
- ・拡大文字、マス目・アンダーライン・マーカーライン・行間。

##### <人的サポート>

- ・思い出せない漢字を聞いてくる。
- ・誰かと一緒に書類を完成させる。
- ・困ったり迷ったりするときは自分からSOSを出す。質問して良い人、時間等を事前に相談
- ・書く必要のあることは内容について質問してくる。
- ・支援センターの担当員に相談している。
- ・メモをとる。スケジュール帳の確認。不安なことはすぐに聞く。

# 第4章 親の心配

## 1. 子どもが使えるようになって欲しいサポート

表2-4-1

将来的に本人が利用できるようになって欲しいサポート	数	比率
[4]③a パソコンでの文字入力	89	8%
[4]③b 読み上げソフトの利用	40	4%
[4]③c 音声入力ソフトの利用	55	5%
[4]③d 紙の書類にパソコンで入力できるソフトの利用	132	12%
[4]③e 安心して気軽に相談できる窓口	781	<b>73%</b>
[4]③f 内容の説明や代読・代筆などをしてくれる日常生活上の支援者	401	38%
[4]③g 支援機器やサービスの情報提供	254	24%
[4]③h 動画や音声で伝えられるソフトの導入	104	10%
[4]③i 特にない	106	10%
[4]③0 未回答	58	5%
計	2020	189%

- ・「安心して気軽に相談できる窓口」が73%と圧倒的に多い。
- ・PCの読み書き支援ソフト等が使えるようになって欲しいといった希望は最大で12%と少ない。
- 支援ソフトが認知されていないのかもしれない。

## 2. 親のサポートが無くなった時の心配

表2-4-2

家族のサポートが無くなった場合、心配なこと	数	比率
[4]④a 一人では契約(アパートやスマホなど)ができない	623	<b>58%</b>
[4]④b 一人では医療機関で問診票などが書けない	217	20%
[4]④c 家族が入院した時など医療機関や保険会社に提出する書類作成を任せられない	751	<b>70%</b>
[4]④d 手帳の更新など行政関係書類が一人では処理できない	624	<b>58%</b>
[4]④e 一人では金融機関の利用ができない	298	28%
[4]④f 商品や製品の使い方など説明書を読まないの、自分勝手に操作する	241	23%
[4]④g 本人が内容を理解していない契約による損失や多重債務を負う	661	<b>62%</b>
[4]④h 特にない	73	7%
[4]④i その他	97	9%
[4]④0 未回答	41	4%
計	3626	339%

- ・「家族が入院した時など医療機関や保険会社に提出する書類作成を任せられない」が70%で一番多い。
- ・次に「本人が内容を理解していない契約による損失や多重債務を負う」が62%と多い。

◎ [4]④i 「その他」について

- ・相続関係の手続き
- ・行政関係などの書類提出を忘れることが多い。
- ・大切な書類が届いても開封して誰かに相談できるかどうか心配。

### 3. 相談機関・相談場所

表2-4-3-1

本人が相談できる人(親や家族以外)または、機関の有無	数	比率
[4]⑤a ある	694	<b>65%</b>
[4]⑤h ない	337	32%
[4]⑤W 複数回答	9	1%
[4]⑤0 未回答	29	3%
計	1069	100%

表2-4-3-2

本人が相談できる人(親や家族以外)または、機関の内容	数	比率
[4]⑤b 友人	136	20%
[4]⑤c 職場の同僚	39	6%
[4]⑤d 職場の上司	139	20%
[4]⑤e 支援機関の職員	433	<b>62%</b>
[4]⑤f 学校の先生	79	11%
[4]⑤g その他	140	20%
計	966	139%

- ・65%が「本人が相談できる場所が親以外にあり」、そのうちの62%が「支援機関の職員」で一番多い。